

1	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室の窓を全開にし、マスクを着用したまま口ずさむようにして、歌唱教材に取り組んでいる。(ただし、50分授業のうちの数分間だけ) ・生徒は全員、前方を向き、十分な間隔をとった上で歌唱活動を行っている。 ・音楽の基礎的な知識(楽譜の進み方、拍子、階名など)を深めるために、歌唱教材を使用している。 ・歌唱への十分な時間が確保しにくい分、鑑賞の授業を充実させている。
2	現在は鑑賞のみ実施している
3	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の机の配置を交互にして、密になるべくならないように配慮している。 ・歌唱は行わず、CDに合わせてことばの抑揚や、強弱を中心に身体(手など)で表現させている。 ・鑑賞の題材を中心にした授業を行うようにしている。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞授業でスタートし、現在は合唱練習を少しずつスタートしている。 ・パート練習は、第1音楽室、第2音楽室に男声、女声に分かれ密にならず練習している。 円にならず、同じ方向を向いて歌い、生徒の配置に気を付け練習している。 ・3学期に例年計画している箏の授業を1学期に計画した。 ・1年生の校歌の指導は、朝の会や帰りの会でCDを聴き、時間をかけて覚えてもらう。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はハミングで音の確認をする。(各学年休校中に歌唱動画で配信済み) ・ワークシートを使って歌唱の学習をする。(実技以外で、どう歌いたいか、盛り上げるところ、強弱記号がついている意味など) ・歌のテストは別室で生徒と距離を保つ。 ・鑑賞の授業を中心にする。 ・器楽は学年ごとに使う楽器を分けている。 <ul style="list-style-type: none"> 1年:ドラム(スティックはシェアしない:1人1セットずつ) 2年:リコーダー(学校では吹かずに運指の確認だけをして家で練習する) 3年:アコギ(ギター・ピックはシェアしない:1人1セットずつ) ・1年生の校歌は休校中の動画配信を使って覚える。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はレベル1の感染状況であることから、お互いの間隔を開かせながら、向かい合わせにならないように注意させながら、歌唱活動やリコーダー活動は実施している(6月より)。以前(4月及び5月)は、鑑賞活動や楽典等の学習を行っていた。 ・音楽室は空調が入っているところも多いため、基本的に歌唱やリコーダー活動以外の時は、マスクの着用をさせている。 ・1学期に歌唱活動がほとんどできなかったことより、6月や7月に実施予定であった合唱コンクールを2学期後半に移動させ、文化祭と抱き合わせで実施する予定の学校も増えている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・例年の年間計画とは異なり、鑑賞の授業から学習を進めている。 ・共用する楽器(箏・ギターなど)を用いた授業はしていない。 ・歌唱時は市松模様生徒を配置し、距離をとってマスク着用のまま短時間で実施している。 ・リコーダーは運指だけの練習時間を取るなどして、実際に吹く時間を短くして実施している。 ・手洗い、消毒を済ませてから音楽室に入室させている。
8	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞・楽典などから実施する。 合唱はパート練習があるため当面実施しない。 箏は最大でも2人に1面のため当面実施しない。(消毒による楽器影響も懸念) 歌唱は体育館で、横2m・縦7mを確保することでマスクをはずして歌う。(飛沫は最大5m) 音楽室出入口にアルコール消毒薬を設置する。 空き時間に机・椅子をアルコールで拭く。 鑑賞はワークシートを配布し、Youtubeを利用する。 歌い方のポイントは動画配信する。 校歌は動画配信する。 楽典はパワーポイントを利用し、ナレーションをつけて動画配信する。 歌のテストは体育館で実施する。
9	・当面の間、創作(ミニキーボード)、器楽合奏(ミニキーボード、打楽器等)、鑑賞の学習を中心に行う。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はハミングまたはマスクの下で軽く口ずさむ程度。 ・合唱はできないと判断。 ・器楽はまだ行っていないが、ギター・箏の学習を考えている。 ・合唱に代わる学習としてボディーパーカッションを実施している。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な3つの密対策(窓を常に開放・座席間1m以上・接触活動NG)を守る。 ・座席足元にマークを貼り、左右1メートル以上の間隔を習慣づける。 ・座席マークは2色交互に配置する。同じ色の生徒を活動させると、実際には2m以上の距離をとっての活動となる。 ・手拍子などの身体表現で、リズムや速度、強弱の学習をする。(飛沫拡散の動画の発表前) ・ハミングの歌唱で、音程の学習をする。 ・歌唱はマスクをつけ、母音での発声で音程や強弱の学習をする。(歌唱動画の発表後) ・リコーダーの頭部管にマスクをつけ、足部管はハンカチで覆い、飛沫拡散防止の対策をする。 ・板書については、パワーポイントで作成したものを使う。これは第2波・第3波で休校になっても、配信できるようにという対策となっている。(本校では、HPIに休校中の学習について支援するために、学習内容をアップしていた)

12	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室が広いので、歌唱時も密にならないように配置し、マスクをして同じ方向を向いて歌う。 ・リコーダーを用いる活動では、机と机の間隔を広くとり、ペア活動を行う際も間隔をとり、自分の席からお互いの指使いを確認したり、音を聴く活動を行う。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく歌唱の単元を入れないように配慮している。 ・もしも、歌唱する場合はハミングや小さな声で歌唱するようにしている。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の限られた時数を有効活用するため、1学期の授業時数を極力(評価ができる程度まで)減らし、年間のカリキュラムを組みなおした。 ・前半は鑑賞及び楽典の内容を中心に学習し、文科省からの通達(歌唱・リコーダーについては換気等には気をつけながら行ってもよい等の連絡)後は、換気をしながら生徒同士の距離を適切にあけて、時間を区切りながら実技指導を行っている。 ・普段は宿題や筆記テスト等は行わないが(実技テストは行う)、評価等の観点から、1学期はミニテストや簡単な課題をあたえ、その都度、生徒の理解度を把握したり、評価に生かしたり等の工夫を行った。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・?音楽室 ?空き教室 ×2部屋 ?音楽室前廊下の4パートに分かれ、窓等は全開、生徒同士の間隔を十分に取り、マスクは着用し、外向きの状態で合唱のパート練習をする。 ・パート練習後の合唱についてはまだ行っていないが、本校は屋外で、体育や他の授業の妨げにならない合唱できそうな場所があるため、外で合唱しようと考えている。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱については範唱を繰り返し、曲を覚え、ワークシートに楽語記号を参考に表現上の工夫などを考えさせ、声を出さずに心で歌わせている。 ・器楽ではリコーダーを使用し、頭部管を用いずに、教師のピアノにあわせて指だけの練習を繰り返している。 ・新1年生では校歌の指導は上級生の範唱をCDで聴き、覚えている。 ・この機会に鑑賞の授業に時間をかけ、オーケストラの楽器についての学習や、諸要素と知覚感受の関係についての学習ができています。
17	<ul style="list-style-type: none"> ○当面歌唱指導は行わず、鑑賞教材や歌唱曲の鑑賞、楽典などを中心に授業を行っている。 ○1年生の校歌指導は、教員が範唱したものを動画で配信し、歌詞と共に覚えるよう休校中の課題とした。 ○リコーダーについては、マスクを使用したまま(演奏しないで)で楽器の紹介や運指についての指導を中心に行っている。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はしばらく行わず、器楽、創作、鑑賞を中心に授業をすすめている。 ・合唱の指導は、状況が良ければ8月から3教室使用して密にならないように配置して行う。 ・今年は合唱コンクールは行わず、学年発表を考えている。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・窓を開けしっかりと換気しながら授業を行い、皆同じ方向を向いてマスクをつけたまま歌唱をしている。 (音楽表現の技能を評価する場面では、一人ずつ教員の近くに呼び、その生徒のみマスクを外して歌うことにしている。) ・例年は4月に合唱の授業を行うが、年間指導計画を見直し、鑑賞や創作、器楽(アルトリコーダー)の授業を先に行った。 ・席と席の間隔をとるようにして、なるべく密を防ぐようにしている。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は生徒同士の間隔を1m以上とり、窓を開けて換気、同一方向でマスクをした状態で実施する。 ・リコーダーはマスクを外すので、生徒同士の話をさせないようにする。 ・ペアで話し合う活動をする場合は間隔をとったまま短時間で行う。 ・鑑賞活動で生徒が発言する際にはマスクを外させないようにする。 ・授業の前後に手洗いをするようにさせる。 ・使用後の教室は椅子やドアなど生徒の手が触れるようなところを消毒する。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・環境面では、座席の間隔を離し一定の距離を保つようにし、手指や備品の消毒などがすぐ にできるよう音楽室に消毒剤を設置。 ・鑑賞、創作活動(旋律づくりなど)を年間計画より前倒しで行った。 ・市販のリズム教材を使い、個人でできる活動を行った。 ・教材の解説や楽典について、通常より多く時間をかけて行った。 ・今後、歌唱や器楽演奏について、新しい学校生活スタイル基に制限しながら少しずつ進める予定。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの交流については、クリアファイルに挟んで掲示し、距離をとりながら互いに見合う形での交流とした。また、実物投影機などを使い、画面上での交流も取り入れた。 ・題材構成及び年間指導計画そのものを見直し、現在の状況に合わせた内容や、状況をうけた新しい題材構成で行っている。 ・体育館など広い場所に移動しての授業実施をしている。 ・評価について、1年生は観点のみとしている。
23	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中は窓を開け、換気をする。 ・一人一人の間隔を開け、密にならないように配慮する。 ・歌唱の音取りの際にハミングを入れながら行う。 ・体調の悪い生徒がいたり、発熱で休んでいる生徒がいたりする場合は鑑賞等に置き換えて授業を行う。 ・話し合い活動の際も相手との距離や立ち位置について生徒に伝えた上で行う。 ・合唱の練習は、パートごとに分かれて密にならないように配慮する。 ・授業の前後に生徒全員が手洗いをを行う。
24	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の際、マスクをつけたまま間隔を空け、同じ方向に向かって歌わせる。 ・活動時は、常時換気をする。
25	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を見直し、歌唱については現段階では控えるように県・市ガイドラインからも指示があるので、マスクを付けたままあまり声を出さずに窓の方を向いて向かい合わないようになど工夫をしながらも、行っていないところが多い。鑑賞や創作と入れ替え、カリキュラムの見直しをしている学校も多い。 ・表現活動については、指揮・手話・リズム打ち・創作など工夫している様子がある。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県公立中学校教育研究会音楽科部会では、今年度の事業がほとんど中止になってしまったので、各地区・学校でどのような工夫をしているかをまとめる方向で計画している。 ・現在のところ、歌唱やリコーダー、鍵盤ハーモニカ等の器楽は実施していない。現在、指導計画を入れ替えて、音楽づくり・創作活動、リズム学習、和楽器、鑑賞等を先行して実践している。

27	<p>7月・・・歌唱教材については、旋律を歌唱表現する活動を、指揮で置き換える。</p> <p>[共通事項]リズム、速度、旋律、強弱、形式</p> <p>?CDを聴いて、音程(リズムとメロディ)をとる。</p> <p>?指揮や手拍子をとりながら、自分の歌う場所や音を伸ばす長さを知る。</p> <p>?4拍子・3拍子・2拍子など拍を確かめたり、速度や強弱の設定と変化を生か したりして表現や工夫をする。</p> <p>8月・・・創作「音楽作り」15秒コマーシャル</p> <p>?動画を撮る。</p> <p>?動画に合わせた音楽を創作し、入れる。</p> <p>?互いに見せ合い、工夫する。</p> <p>9月・・・合唱練習</p> <p>?パート毎の練習では、一列になって行う。</p> <p>(向かい合わない)</p> <p>?全員で歌唱練習を行わずに、時間を決めて10分程度で交替する。</p> <p>(歌唱練習以外の生徒は、楽典・ワーク・鑑賞レポート制作)</p> <p>?全体で歌うときは、体育館や屋外で一列になり、距離を十分にとる工夫をし て、飛沫感染を防ぐ。</p>
28	<p>・歌唱は行わず、鑑賞とリズム練習を応用も含めて行っている。</p> <p>・新1年生の校歌指導は、再開後1～3時間、授業のスタート10分を使い、教師の範唱を聞きながらハミングで旋律を覚えさせた。(なかなか定着せず、覚えていない生徒が多い。)</p> <p>・2学期以降のカリキュラムで、歌唱教材を扱う場合、マスク着用のまま耳で聴く活動を中心に、ハミング程度の表現活動になると予想される。</p>
29	<p>・密にならないように、廊下で1人1窓、外を向いてパート練習をしている。</p> <p>・新1年生の校歌指導は、一人ずつに校歌のCDを渡し、家庭学習で歌うようにした。</p>
30	<p>・音楽室の隣の多目的室の方が広く、密を避けるために授業はそちらでやっている。</p> <p>・多目的室はカーペットなので、机や椅子を置かず、不特定多数の生徒が共有しないようにしている。</p> <p>・使用後は、空間除菌スプレーを噴霧している。</p> <p>・歌唱は、フェイスシールドを使用していく予定。</p>
31	<p>・合唱活動や、リコーダー演奏は行わず、リズム学習に変更している。</p> <p>・今後行う鑑賞を早めに行っている。</p> <p>・9月に和楽器(箏)を行う予定である。</p>
32	<p>・なるべく広い場所で歌唱練習は行う。</p> <p>・パート練習では、1列で同じ方向を向いて行うことができるように場所を確保する。</p> <p>・鑑賞を中心としたカリキュラムを組んで年度当初は行う。</p>
33	<p>・校歌は、ピアノ伴奏CD以外何もなかったため、歌詞の意味を確認した後、教師がフェイスシールドとマスクをつけて引き歌いをして聴かせた。その後音楽の授業時のみマスクをつけたままハミングしたり声は出さず口だけ動かしたりしている。</p> <p>・歌唱の共通教材は学習プリントを使い表現の工夫もしながら指揮で表現する。表現テストも指揮で行う。今後、自粛が長引くならば合唱曲も指揮のみで行うことも考えられる。</p> <p>・休校中、教科書掲載曲の音源が教科書会社のホームページで配信されているのを見つけ、自作の学習プリントで家庭学習ができるように整えた。しかし、インターネット環境がないため視聴できなかった生徒もおり、学校再開後も一度CDやDVDで確認した。</p> <p>・自治体単位で所有している「箏」を借りてきて全校で取り組む予定である。(他校と時期を調整しながら)</p> <p>・教科書に掲載されている「リズムゲーム」に取り組み、記譜の仕方をマスターさせたり、リズム打ちで表現活動をしたりする予定である。</p> <p>・グループでの創作活動や意見交流活動は今のところ見合わせている。</p> <p>・鑑賞学習は、本年度まで毎学期評価する必要があるため、例年通り分散させて実施する予定である。</p> <p>・蜜を避けるため、個々の机を離し合唱台はたたんだ状態にある。(置くスペースがない)</p> <p>・音に対する集中力を上げるため、「音当てクイズ」を始めた。階名だけでなく五線に音符を書かせるようにしている。</p> <p>・エアコンがない音楽室では今後33～35℃まで室温が上昇することが予想されるため、各自水筒を持参させている。</p>
34	<p>・常に教室の窓を開けて換気を徹底している。</p> <p>・合唱の練習は2つの教室に分けてパート練習を行い、密にならないよう配慮している。</p>
35	<p>・密にならないように、1人1人の席を離れた配置にした。</p> <p>・歌唱は基本はマスクを付けて歌っている</p> <p>・教室の机、イスは使用後に消毒している。</p> <p>・窓を開け換気をしながら指導している。</p>
36	<p>・鑑賞とソルフェージュを中心に行っている。</p> <p>・合唱曲を使って、分析をしている(構成・旋律の音の動き・伴奏の効果など)</p> <p>・タブレットにキーボード操作のできるアプリを入れてもらおうと交渉中。</p> <p>・ボディパーカッションの楽譜を講習しようとして検討中。</p>
37	<p>・当面、歌唱は行わず、鑑賞とリズムアンサンブルを中心に授業を進める。</p> <p>・リコーダー活動は、音を出さずに運指のみの確認にとどめる。</p> <p>・新1年生の校歌の指導は、歌詞の意味を読み取ったり、教員が旋律を弾いたりして覚えてもらう。</p>

38	<ul style="list-style-type: none"> ・当面的歌唱は行わず、鑑賞、創作を実施する。 ・器楽については、2人に1台キーボードを準備し、授業を行う。 ・動画配信については市教委の許可が下りず実施できていない。
39	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱指導とリコーダーは行わず、ギターやリズム打ちなどの活動を行っている。また、フラッシュカードによる音符や表現記号の名前や意味について学習している。
40	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は広い体育館で距離を取って歌う。 ・年間計画を変更し、鑑賞や創作の授業を先に実施する。 ・創作の際、鍵盤ハーモニカやリコーダーを使いたいが飛沫を防ぐため、タブレット・PCでのバーチャルピアノを利用する。
41	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は鑑賞とリズム学習、楽典的な学習を中心に進めた。 ・授業のはじめに卒業生の校歌の範唱CDを聴く。教科書の歌唱教材を鑑賞しポイントを指導。授業の後半でAリコーダーの奏法を実施。(3つの広い教室に10名～12名の分散で実施。) ・7月後半から、3つの広い教室にパートごと(S・A・男声)に分散して合唱コンクールに向けたパート練習を実施する予定。(全員マスク着用で歌う。)
42	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱については、曲の構成や「どのように表現を工夫するとよいか」を考える活動を中心に学習を進める。 ・合唱の練習は、空き教室等に分散し、広がってパート練習をする。全体で合わせて合唱する際は体育館を使用し、距離を取って歌う。 ・リコーダーは、指の練習をしっかり行い、吹く時間を最小限にする。
43	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌の授業は、体育館で広がって実施した。
44	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞を中心に授業を進める。 ・新1年生の校歌の指導は、上級生の範唱を鑑賞させ、実際の歌唱は2学期以降に行う。
45	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動は後期に先延ばしにし、鑑賞活動を深く掘り下げて行っている。 ・当面、歌唱活動は行わず、ギターや箏などの口に触れずに演奏できる器楽活動をする予定である。 ・新1年生の校歌の指導は、換気を常に行い、授業中に全員で歌うことがないように少人数で離れて歌うようにしている。
46	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞・器楽(ギターや和楽器)を中心に授業を進める。
47	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わない。 ・手拍子による合奏をカリキュラムに取り入れる。 ・鑑賞の授業の時数を増やす。 ・消毒して箏の練習をする。 ・歌唱教材は、教科書に沿って、聴いたり楽譜を見たりして考える授業を行う。
48	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシールドをした上で、十分に生徒間の距離をとった上での歌唱指導。
49	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱教材を使用して歌以外の指導をしている→表現の創意工夫等 ・リズム、楽典を重視して指導している→歌唱教材のものをリズムアンサンブルする、楽譜の読み方について詳しく確認する ・マスクをしながら口ずさむ程度の歌唱→パート練習ができないので斉唱 ・ハミングをして発声について学ぶ
50	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前後の手洗い。 ・机の配置を音楽室全体に広げ、できるだけ距離をとって音楽活動をしている。 ・学校再開後1か月間は、歌唱活動は、マスクをして、ハミングする程度に留めた。 ・学校再開後1か月間は、リコーダーによる器楽演奏は行わず、手拍子によるリズム演奏と鑑賞活動のみに取り組んだ。 ・1年生の校歌の指導は、体育館で、密を避けて実施した。
51	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、リズム学習や、リズム創作活動、鑑賞の授業を中心に実施する。 ・歌唱教材は、密にならないように距離を置いて並べせ、女声、男声別々に、音楽に合わせて口ずさんで覚えさせるようにする。 ・パート練習や合唱練習は、外の中庭や体育館などの広い場所で、密にならないように並べせ実施する。
52	<ul style="list-style-type: none"> ・窓は全開にして授業を行う。 ・席は前後左右1席分あける。(小規模校のため、座席に余裕あり。) ・リコーダーの学習等でマスクを外すことがある場合は、対面にならないよう向きを一方に定めて実施する。
53	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドクラップによるリズムアンサンブル。 ・リズムで創作活動。 ・「心の歌」の楽曲をリズムに注目して鑑賞する。 ・鑑賞では、生徒達の実生活とクラシック音楽を繋げる指導を行う。
54	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルディスタンスをとってのリコーダー指導(出席番号順で奇数偶数交代制で演奏する) ・マスク着用しながら小声での階名唱でリコーダーの運指練習 ・マスク着用しながらハミングでの歌唱練習
55	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの授業は、全員に譜面台を使わせ、座席を2M離して座らせる。 ・リコーダーは簡単な歌唱教材を取り扱い、各パートの音を演奏させる。 ・演奏する際には、歌うことを意識させる。 ・歌唱と同様に、ピアノ伴奏で合奏する。 ・パートの音取りはリコーダーで行い、マスクを着用し、合唱をする。
56	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と器楽(ギターや箏)を中心に授業を進める。 ・1年生の校歌の指導は、教師のほうで音源を用意し、授業ではハミングなどで音程やリズムを覚える。歌詞はプリントを用意し、家庭学習で覚えてもらう。 ・歌唱を行うときは、マスクをして歌うかハミングで歌う。また、家庭学習で歌えるようにし、実技テストは密にならないように一人ずつ別室で行う。 ・合唱練習は、女声パートと男声パートで教室を分け、密にならないように配置してパート練習を行う。

57	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はマスク着用の上、縦横2mの間隔を空けて行うようにしている。 ・リコーダーは外で、2m以上の間隔を空けて行っている。雨天等で外で行えない場合は、音源に合わせてハミングをし、指を動かすのみ。 ・狭い空間では歌唱ができないため、CDに合わせてブームワッカーでの演奏を行う。
58	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は、表現に対する意図や思いについてや、曲についての理解を深める授業を中心に行っている。歌うときには、必ずマスクを着用と換気を行い、「心で歌おう」や「口ずさむ程度で」、「自分だけに聞こえる声の大きさで」という表現で、指導を行っている。また、歌唱の代用として、指揮で表現をすることを取り入れている。 ・器楽は、リコーダーのようにマスクを外して活動を行うものは予定していない。ボディパーカッションや箏、ギターを行う予定である。 ・音楽の授業全体を通して、音楽室を来る前・退室後の手洗いを徹底している。また、1人1人の机を離し、話し合い活動は自席を離れず、距離を保って行うことを指導している。1日の終わりに音楽室の机やドアノブなどを消毒(ジェニッククリーナー)している。
59	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィンズスコアのリズム演奏楽譜を使い、『風になりたい』の演奏を1年、2年で行った。 ・3年生でギターの授業を行い、マスクを付けて弾き歌いの授業を行った。(カントリーロード)
60	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動は、教室に間隔を空けて位置した机に生徒を配置して、その場でマスクを着けて行う。密集となる合唱隊形では行わないので、三部合唱はできず、斉唱と二部合唱の教材を取り上げている。
61	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞とリズムの学習を中心に、授業を進める。
62	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間机・椅子の消毒を行っている。
63	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は5月から1ヶ月ほど、体育館で密にならないよう並び、歌唱以外の授業を実施。 ・毎時間、5分程度の鑑賞曲を聞かせ、音楽の要素を取り入れながら特徴を捉える授業を行った。 ・マスクをして授業をしたが、平常の歌唱は不可能であったので、「音を聞く」練習をするために、音符カードを各自に準備して音をあてるゲームを継続した。 ・リズムカードを使い、リズム創作やリズム読みの授業を行った。 ・拍子感を育てるため、4拍子、3拍子の指揮を全員に振らせてお互いよい指揮法を選ぶ。授業を行った。
64	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から学校再開 ・通常は4人1組の小グループで席を配置していたが、座席は前後左右1mの間隔をあけて全員前向きの一斉授業スタイルで配置した。 ・歌唱は音量を抑えてマスクをつけて実施(保護者から学校再開後音楽授業、特に歌唱においてどのように実施するのか問い合わせがあったため、歌唱に関しては歌わなくてもよいと指導。その場合には心の中で音楽を感じて、どんな歌なのかを考えワークシートに書かせるなどの配慮をした。) ・6月29日(月)の週より2部合唱を試験的に開始。男声は音楽室で、女声は同じフロアにある女子更衣室でパート練習(最初は普通教室に女性パートを配置しようとしたが、隣の教室で授業をしている教員から、合唱の声が聞こえると授業に支障が出るとの相談があったため、一番離れた女子更衣室を選択) ・女子更衣室であるため、男性教員である私は指導に入れないデメリットがある。生徒の管理もできないため10分間の短い時間、生徒同士の距離を取って窓を全開にし練習を実施させている。 ・アルトリコーダーの授業においては、通常通り実施している。 ただしその際も音楽室のすべての窓を全開にし、入り口のドアもあけて実施している。
65	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱指導(実技)授業動画を18本YouTubeにアップしました。
66	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生に向けて、校歌の音源をホームページに載せた。 ・当面、歌唱は行わない。和楽器や鑑賞、創作を中心に行う。 ・和楽器の中では、箏に取り組んでいるが、学校の備品だけでは足りないため、10面ほど楽器店から借りて箏曲について学習し、創作も行っている。
67	<ul style="list-style-type: none"> ・机の間隔を空け、7月までは「鑑賞」中心の授業をする予定。 ・校歌のピアノ伴奏に合わせて、4分の4拍子を手拍子やボディパーカッションで表現する活動をしている。 ・校歌のピアノ伴奏に合わせて、指揮の練習をしている。
68	<ul style="list-style-type: none"> ・「校歌」は、上級生の動画(過去の卒業式の映像)を見せ、リズムや拍子をとる練習や歌詞の意味の解釈を行った。(1年生) ・歌唱教材(「花」や「浜辺の歌」)は、歌詞の意味、楽譜上の表現の工夫などを中心に学習を進めた。(2・3年生) ・簡単なボディパーカッション的な授業を行った。(全学年) ・年間指導計画を変更し、鑑賞の授業を中心に進めた。(全学年) ・校歌は、CATVから提供していただいたDVDを視聴して、それに合わせて軽く口ずさんで覚えさせた。(1年生) ・ハンドサインによるハーモニー作り。コダーイシステムによるハンドサインを使い、軽く声を出して、教師のハンドサインを見ながらドミソをハモらせる練習をさせた。(1年生) ・ボディパーカッションの導入として、4分の4拍子2小節のリズムを各自で作らせて、そのリズム打ちを練習し、たたき方やアクセントなどを工夫させて発表する。(参考にボディパーカッションの動画をyoutubeで検索して見せました。)(2年生) ・「ボレロ」の授業で、各自専用の割り箸を用意し、机をたたいてボレロのリズムを打つ。小太鼓パートのリズムのきざみと、チェロパートの四部音符とに分かれてたたき方を変え、それに合わせて主題のメロディを吹奏楽部の生徒に演奏させて、曲の一部を体感させた。(3年生)
69	<ul style="list-style-type: none"> ・校内行事で行われる全校合唱等が今年度は実施されないこととなったので、年間指導計画を組み替え、鑑賞教材や創作分野から学習をすすめている。 ・歌唱についてはマスクをしたまま行い、範唱のCDやDVDを活用しながら、歌詞の理解と表現の技能に関わる用語や記号等の理解について学ばせている。
70	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は密を避けるため外で歌っている。 ・創作や創作による表現、鑑賞を中心に授業を進めている。 ・歌唱については「心の中で歌う」ことは現実的ではないのでしていない。 ・創作についてはカホン(技術で一人一台作成)やキーボード(一人一台)、ボディパーカッションで行っている。
71	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は密にならないように配置し実施する。 ・1年はリコーダーを用いる活動の時は、密にならないよう配置し、終了後リコーダーのアルコール消毒をする。 ・2、3年はリコーダーの授業は当面行わず、リズム活動の実施や、鑑賞の実施をする。

72	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は、ハミングとリズム打ちを用いて学習を進めている。 ・当面は、鑑賞と創作を中心に学習する。 ・新1年生の校歌指導は、模範CDを聴きながらハミングで学習する。
73	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞、創作の授業を中心に行っている ・キーボードを購入し、メロディー創作を行っている
74	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱のパート練習では、生徒同士が対面することがないように、互い違いに配置している。場所は、音楽室の他に、体育館や廊下といった広い場所を使って、距離をとれるようにしている。またその際も、窓を開け、換気が常に行われている状態を作っている。 ・休校から再開して間もない間は、鑑賞のみ実施していたが、6月からは歌唱も実施している、 ・器楽については筆を冬季に予定。爪は1回ごとに消毒作業が必要だと考えている。 ・アルトリコーダーを1学期後半から1・2年生で実施する予定だが、授業後の手洗い・うがいを徹底させ行う予定である。
75	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は斉唱のみ。音楽室で座席配置を工夫して短時間で、一斉に行っている。 google classroomで家庭での練習をするように促している。 ・リコーダーができないので、器楽は今年度はギターを行う予定。
76	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣で新型コロナウイルス感染者が確認され、拡大のリスクが非常に高いと判断された時期は、音楽自体の授業を行わないこととした。(活動内容に偏りが出て、表現と鑑賞の関連を図ることが難しくなるため) ・当面、歌唱活動は行わず、鑑賞を中心にカリキュラムを編成した。(年間指導計画の見直し) ・校歌が紹介されている動画サイトを紹介し、家庭でも覚えられるようにした。 ・音楽通信を発行し、授業で扱う内容のみならず、音楽に関する幅広い話題を提供し、家庭でも音楽に親しめるよう工夫した。
77	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱やリコーダーは行わず、鑑賞と打楽器(少人数なので可能)による活動を行っています。
78	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞、創作、器楽(ギター、箏)を中心に授業を行う。 ・新1年生の校歌、生徒会歌の指導は、屋の放送で上級生の範歌を流し、聴くことで覚えてもらう。
79	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムを入れ替え、鑑賞や楽典を中心に行っていた。 ・歌唱は密にならないよう、窓を必ず開け、間隔をあけて行っている。 ・歌うときは、全員同じ方向を向いて歌っている。 ・マスクをしながらの歌唱になるので、休憩をこまめにとり、行っている。
80	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、各パートが特別教室に分かれ、密にならないように配慮する。また、必ず窓を 開けて行うなど、換気を徹底する。 ・5月当初は、外で声だしを行っていました。
81	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱やリコーダーは当面の間行わず、ギターや鑑賞を中心に授業を進めています。
82	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、自席のままワークシートなどで、どのように歌いたいのかまとめたりする活動を中心に授業を進める。 ・リコーダーも自席で授業。譜面台でガードしつつ短時間で終わるように配慮して授業を進める。
83	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムを入れ替え、合唱や合奏の時間を秋以降に増やすようにする。 ・合唱のパート練習は、パート毎に空き教室を利用し、フェイスガード着用の上、立ち位置に配慮して行う。 ・合唱の全体練習は、屋外や体育館等で行う。
84	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再開当初は、年間指導計画に位置付けていた手拍子の音楽や鑑賞を先に実施した。 【レベル1地域】に指定されてからは、 ・歌唱(斉唱)は、教室の外側(四方)を向いて、マスクを着けたまま発声する。その際、大きな声を出すことよりも、良い響きを保つことに重点を置く。 ・器楽(リコーダー)は、歌唱と同じく教室の外側(四方)を向いて、演奏する。 ・混声合唱の活動は未実施。検討中。
85	<ul style="list-style-type: none"> ・当面歌唱は行わず、鑑賞と箏を中心にカリキュラムを組む。 ・歌唱実施に向け、教材の歌詞の解釈や創意工夫を進めていく。
86	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は行わず、器楽と鑑賞を中心に授業を進める。
87	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年10名以下なので、音楽室いっぱい座席を離して配置している。密にならない。 ・歌唱やリコーダーの演奏は、自分の座席から前を向かせて行っている。歌唱はマスクをした状態で強弱表現をあまり求めていない。リコーダーの演奏の時だけマスクは外しているが、話すときはマスクをつけさせている。リコーダー演奏にも強弱表現を求めていない。 ・授業後は、手洗い・うがいを必ずするよう指導している。
88	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれが、壁際を向いて音とりを大々している。 ・ゲームなどを行って、音楽に関する記号などを覚えている。
89	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の授業を中心に行う。一人1台タブレット端末を用いて、Piano Plusとロイロノートを活用した。(Piano Plusで旋律作曲し、画面収録を行い、ロイロノートで提出を行う。他生徒の作品と比較し、特徴的な旋律について分析し、自分の作品に生かす) ・ギターを使用する際は、楽器を受け取る直前と返却した直後に手を消毒する。 ・歌唱はハミングで行い、様々な楽曲の創意工夫した歌い方や発声方法等について学習する。 ・座席を互い違いに配置し、できるだけ間隔をあけて活動している。

90	<ul style="list-style-type: none"> ・密にならないように、座席の間隔を十分に開けたうえで授業を行っている。 ・歌唱においては、生徒同士が向き合うことがないよう、短時間でマスクを着用して行う。 ・鑑賞や楽典などを中心に授業を進め、歌唱はCDを聴いて音程を覚えるなど極力声を出さないよう努めている。
91	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行っていない。
92	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞教材を中心に授業に取り組んでいる ・弦楽器を中心に表現活動に取り組んでいる (箏やギター ※時にはフェースガードを用いて)
93	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、題材や教材を入れ替えて、歌唱活動や器楽の学習を行わないようにしており、どの学年も鑑賞や創作、リズム等の学習を中心に授業を行っている。 ・音楽室を使用する際には毎時間消毒をする、生徒同士の席を離すなど、今後もしばらくは学級全員、学年全員での合唱活動は控え、ソーシャルディスタンスを十分に保った活動を行っている。
94	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞とギターを中心にカリキュラムを組む。 ・歌唱はマスク着用の上、密にならないように間隔を空けて短時間で実施する。 ・授業開始前に生徒の手を消毒する。 ・窓を対角線上に数カ所開け、常時換気をする。 ・1日1回授業終了時に机を消毒する。
95	<ul style="list-style-type: none"> ・5月までは歌唱を行わない。音楽室を使用しない。 6月からは音楽室を使用し、窓を開放し、座席を離して授業を行う。 音楽室を出たら石鹸で手を洗う。 ・7月からはマスクをつけた状態で小さな声による歌唱の授業を再開する。 パート練習など、近距離や向かい合っの歌唱は行わない。 ・コロナ対策によって損なわれがちな歌唱の成就感を補うため 混声2部合唱を中心とし、参考音源(歌つき)を大きめの音量で鳴らしながら歌っています。
96	<ul style="list-style-type: none"> ・履修計画を変更し、学期前半は歌唱を行わず、鑑賞を中心に行った。 ・授業は密にならないように、距離を置いた配置で実施する。 ・歌唱の際は、フェイスシールドを活用して実施する。 ・パート練習は密集を防ぐため、他教室も活用し分散して行う。
97	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室の机を縦7列、横5列のテスト隊形にし、できる限り間隔をとり学習を進めている。 ・放課後に机、いす、ドアノブ、蛍光灯のスイッチ、マレット、爪等、生徒が触れる部分のアルコール消毒を行っている。 ・歌唱教材は当面取り扱わず、創作、鑑賞、器楽(打楽器、クラッピング、箏)を中心に進めている。 ・1年生の校歌指導では、上級生の範唱CDを参考にした。範唱を流しながら、楽譜の音符や歌詞をペンで1つ1つ叩いてリズム打ちを行い、リズムを学習。また、マスク着用の上、ハミングで音程を学習した。
98	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全員での歌唱は※屋外で十分な間隔を取って行う。(電子ピアノ使用) ・合唱パート練習は音楽室、美術室、※屋外を使用して十分な間隔を取って行う。 ・音楽室での歌唱場面はマスクを着用し、音程やリズムの確認程度とする。 ・授業後の手洗いやうがいの推奨。 ・使用教室の消毒。 <p>※本校は音楽室の隣に「野外ステージ」というスペースがある。</p>
99	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の授業を中心とした授業づくり ・リコーダーは2学期、3学期を予定 ・歌唱の授業は校内でも広いミーティングルームで間隔を取って行っている。 ・グループ学習は行わず、生徒対教師の発問の受け答えで意見を共有する。
100	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と器楽を中心に行っている。 ・歌唱について、前後の間隔を空け、自席でマスクをしたまま小声で歌っている。
101	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は行わず、鑑賞や創作活動を行っている。
102	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期以降に行う予定だった鑑賞の授業を、先に実施している。 ・歌唱活動は、できるだけ広い間隔を取って窓を開けて、長時間にならないようにして行っている。 ・話し合い活動やグループでの活動を限定し、全体で確認したり、指導したりする場面を増やしている。
103	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱のうち、校歌や共通教材について、オンライン授業でメロディを覚えさせたり、曲に対する思いや意図をもたせたりしている。 ・器楽については、弦楽器(箏、ギター)に限定するとともに発展的な内容も取り扱うようにしている。 ・歌唱の技能面については、後日指導する。 ・合唱は当面実施しない。 ・鑑賞については、オンライン授業を中心に行っている。 ・創作については、コンピュータを用いて実施する。
104	<ul style="list-style-type: none"> ・年間カリキュラムを見直し、1学期は鑑賞中心の授業を実施する。 ・表現活動として、ボディパーカッションを取り入れ、リズムの学習を取り入れている。

105	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱指導は行う予定はない。 ・音楽室は使用せず、会議室で3人掛け机の間を空けて2人で前を向いて学習を行っている。 ・入室の際に生徒と教師は手を消毒し、授業後の手の消毒も行っている。 ・部屋の出入り口を開け、換気扇とクーラーを稼働し、窓も10センチずつ開けて授業を行っている。 ・1年 校歌は、授業の開始2分間と給食の時間にCDを聞く。 校歌と4月単元指導計画の歌唱曲「Well' Find The Way」は、4拍子の指揮の学習を行った。 歌唱曲「同上」は、主旋律と副旋律の旋律をそれぞれ手拍子で打ち、リズムアンサンブルを行った。 鑑賞「映画音楽」の授業を行っている。 ・2年 器楽の教科書「打楽器の小品」を手拍子でリズムアンサンブルを行った。 観賞「フーガ短調」の授業を行っている。 ・3年 歌唱曲「花」の学習で、歌詞と音楽の特徴とのかかわりを感じ取る授業を行った。
106	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の授業は後にまわして、創作と鑑賞の授業を先に行っている。 ・一年生の校歌は動画にて見せもらい、覚えてきてもらっている ・リコーダーの授業では、窓を全開にして5分程度の練習にとどめている。
107	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は自分の席でハミングで主旋律を歌う。なれてきたら他のパートを歌い2部のハーモニーを感じるように気が付かせる。今まで合唱の時間を多く割っていたが、器楽の時間や創作の時間に時間を多く割いていこうと思っている。 ・器楽はギターを使用している。
108	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はマスク着用の上、ハミング等で響きを確認しながら歌う。全員ユニゾンでメロディをつかませ、パート練習は密になるため行わない。パートCDを活用して、各パートの特性を聴き取らせ、メロディと重ねてハーモニーを感じさせる。 ・器楽は、リコーダー等の管楽器は使用せず、和楽器を中心に弦楽器や打楽器を使用。 ・創作はハンドクラップや鍵盤楽器を使用しつつ、ほぼ従来通り。 ・鑑賞はグループワークなどの活動を除き、ほぼ従来通り。
109	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は体育館で行っている。パート練習は窓を開け、窓の外に向かって発声し、全体での合唱の時は、十分な間隔を取って対面しないようにしながら取り組んでいる。 ・手拍子などでリズムアンサンブルづくり(創作)を行った。
110	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は、音楽室にソーシャルディスタンスを保った円を作り、外側を向いて実施する。 ・合唱の練習は、各声部ごとに部屋を分けて密にならないよう配置する。
111	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画を入れ替え、当面、合唱は行わず鑑賞から授業を進めている。
112	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクの着用と授業後の手洗いと換気。 ・向かい合わせやピアノの前に集合して歌唱することを制限している。 ・間隔を示した足形シートの設置。 ・プレゼンソフトを使ってこれまでの復習をクイズ形式で出題する。
113	<ul style="list-style-type: none"> ・当面歌唱の学習は行わない。 ・実技はアルトリコーダーを実施し、音楽室、廊下などを使って換気を十分に行いながら適切な距離を保って練習を行う。また、指導にはタブレット端末を利用し、教員が適宜サポートを行う形式で行う。
114	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はマスクをしたまま、ハミングで行う。
115	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の生徒が同じ机を使用するので、授業で使用した机は、次の授業が始まる前までにアルコール消毒をしている。 ・机の間隔を最大限空けて、配置している。 ・歌唱は行わず、鑑賞及び、創作の授業を行っている。 ・創作の活動は、リズム創作を中心に行い、手拍子のみで表現できるようにしている。
116	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の授業の代わりに、3学期に行う予定だった等の授業を前倒して行った。 ・歌唱は全員が同じ方向を向いて、換気・マスクを徹底し、短時間行うようにした。 ・パートごと並んでいた座席を、ソーシャルディスタンスを意識した座席に変更した。
117	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はマスクを着用し、密にならないよう生徒を配置して行う。
118	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の間、歌唱活動は行わず、鑑賞及びアコーディオンやギター等を使用した器楽合奏を行った。その際に共有して使用する楽器の消毒を行った。 ・学校再開1か月後から歌唱活動を始めたが、当初は、生徒同士の間隔をとり、向かい合って歌うことなどをしないように配慮した。特に合唱活動でのパート練習の際には、第1音楽室、第2音楽室に分かれ、横一列になり、間隔をとって歌唱するよう心がけた。
119	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室は使用後に毎時間除菌する。 ・鑑賞の授業から題材を構成した。 ・タブレットやギターは、使用前後に手指消毒を行って使用した。 ・グループ交流は、第1・第2音楽室に半分ずつ分かれて交流を行った。

120	<ul style="list-style-type: none"> ・当面歌唱は行わず、鑑賞と器楽(ギター)及びリズムアンサンブルを中心に年間計画の変更をする。 ・1年生の校歌の練習は、模範演奏をきき、音程やリズムを覚えさせる。 ・歌唱練習を行う際には、武道場など、換気しやすいところで密にならない配置を工夫し活動を行う。その際には、脱水症状にならないよう体調管理も行う。 ・アルトリコーダーについては、後期の取り扱いとする。時間の不足が考えられるので、弾力的に運用する。
121	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は斉唱のみで、自分の席でマスクを着用して行う。 ・歌唱の指導は控え、鑑賞やリズムアンサンブルを中心に授業を進める。 ・当面、リコーダーの学習は行わない。
122	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱教材は行わず、鑑賞と創作を中心に行っている。
123	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱指導において、従来の授業形態では歌唱する際は生徒たちをピアノの周りに集めて行っていたが、新型コロナ感染拡大防止のために、ピアノの周りには生徒を集めず、更に密にならないように席の前後左右の間隔を従来よりも広くとり、マスク着用で歌わせている。また、歌唱の実技テストの際もマスク着用で実施している。
124	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室の座席を市松模様でセッティングし、前後左右の距離を十分に保った上で、全員がマスクを着用し授業(歌唱等)を行っている。 ・1クラスの人数が多いため、歌唱は今のところ行っていない。
125	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の代わりに、クラブパーカッションと称して、クラブでのアンサンブルを行い、音の重なりや曲想の変化の題材の学習を進めている。 ・鑑賞の学習をいつもより詳しく行っている。 <p>(例えば、交響曲第5番を曲の仕組みに着目して学習した後、ベートーヴェンの9つの交響曲を抜粋して聴き、作曲家のおいたちや作風の変化などにも触れて学習を進めた。)</p>
126	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌の指導について、授業中にはマスク着用をしてハミングで旋律を覚え、校歌の演奏を学校HPIにアップし、家でも確認できるようにしている。 ・歌唱教材を鑑賞曲的に扱っている。普段の歌唱指導時より、楽曲について内容を詳しく学習している。 ・リコーダーは選指の確認のみで、練習チェック表を渡して家庭で復習をさせている。 ・器楽は筆、ギター、ボディパーカッションの予定。
127	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や器楽の授業は当面行わず、鑑賞やリズム創作の授業を中心に進めている。
128	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はハミングのみとし、口を開けて歌わない。 ・鑑賞の活動を充実させ、ICTを活用した授業を行っている。 ・机を格子状に配置し、授業中はエアコンを入れたまま窓を開放して密閉を防いでいる。 ・生徒が触った道具は、アルコール消毒を行う。
129	<ul style="list-style-type: none"> ・座席は前後左右ともにこれまでの倍程度の距離をとって座る。 ・窓や扉を開け、換気扇や扇風機を使用し、換気を行いながら授業を行う。 ・歌唱は、マスクを着用したまま行い、声量を上げるような指導は控える。
130	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒の時間が確保できない関係で、音楽室は使用していない。(7月1日現在) ・どの学年も、鑑賞の授業を先に行っている。 ・通常教室で席に着席したまま、前を向いて、マスクをいした状態で小さな声で歌ったり、ハミングをしている。 ・アルトリコーダーは、音は出さずにハミングと指だけで練習している。
131	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムを変更している。 ・マスクを着用して授業をしている。 <p>。当面、歌唱は行わず、鑑賞や和楽器を実施している。</p>
132	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱やリコーダーをする際には、机の間隔をできる限りあけて、ソーシャルディスタンスを保てるように配慮する。また、空気の流れを確保するために窓を全開にし、ペア学習は基本的に行わない。 ・どの分野でも「鑑賞」の活動を多く取り入れて、聞いて考える授業を行う。 ・創作の授業では、打楽器の使いまわしを避けるため、手拍子で行うアンサンブルを実施している。
133	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期は、楽典や鑑賞、リズム打ちを多く取り入れる。 ・歌は、マスクを付けたまま、苦しくない程度の声の大きさと歌わせる。 ・アルトリコーダーの授業は、ペアやグループ学習では行わず、個人練習のみで行う。 ・ギター学習が可能な学年では、リコーダーよりギターを優先で、授業を仕組む。 ・話し合い活動は、イスの向きを変えるのみで行い、5分以内に収める。
134	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は間隔をとり、マスクをつけて、歌っている。 ・窓を開け、同方向を向いて歌っている。 ・響きはそこまで求めず、正しい音程で歌わせるようにしている。 ・鑑賞や創作の題材を先にした。
135	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は行わず、1学年の校歌指導は入学式の時の音源を使い、歌詞を見ながらハミングで歌唱。 ・リズムゲームを使って作曲をさせ、強弱や速度変化の記号をつけて手拍子で表現。
136	<ul style="list-style-type: none"> ・密にならないように、教室全体に広がってリコーダー演奏させている。 ・歌唱は現在、実施していない。 ・授業の後には、教室全体を消毒している。
137	<ul style="list-style-type: none"> ・パートごとに部屋を分け、マスクを着用し間隔を取って歌っている。

138	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルディスタンスをとり、同じ方向を向いてマスクを着用して、発声練習・歌唱を行う。※マスクをつけての歌唱は、貧血、呼吸困難や熱中症の心配があるため着席して行う。 ・リコーダー演奏は、飛沫に留意する。各自タオルを用意させ、床やひざにのせるなどして、同じ方向を向いて演奏する。※リコーダー以外の器楽合奏を取り入れる場合は、楽器の消毒を徹底する。 ・リズム打ち等は、マスクを着用し同じ方向を向いて行う。 ・リコーダー以外の器楽合奏を取り入れる場合は、楽器の消毒を徹底する。
139	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を中心とした授業にし、歌唱を取り入れる場合は短時間で行う。 ・音楽室での歌唱はマスク着用。外す場合は多目的ホールで。 ・毎時間の拭き取り消毒。 ・生徒間は距離を取り、一方向に向いての授業。
140	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画を見直し、鑑賞の授業を前倒して授業を進めている。 ・器楽の実技としてボディパーカッションを行い、またリズムは各自で創作させている。
141	<ul style="list-style-type: none"> ・年計を見直し、鑑賞や創作を先に行い、歌唱は後で行う。 ・創作では十分に数が確保できる打楽器のみ使用し、その他は手作り楽器で対応した。 ・歌唱では、密集しないように音楽室の壁に沿って生徒を配置して行っている。
142	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞と器楽と創作を中心にカリキュラムを組む。
143	<ul style="list-style-type: none"> ・授業での歌唱練習時間を減らすために、全校生徒に家庭での練習を呼びかけた。 ・授業で歌唱活動を行う場合は、男女別で十分に間隔を保てるようにし、マスクやフェイスシールドを着用している。 ・カリキュラムを入れ替えて、鑑賞や創作の活動を中心にした授業を行っている。
144	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画を組み替え、鑑賞と表現(創作)から実施している。 ・歌唱や器楽の実技指導については、クラス全員での合唱や合奏は見合わせ、別室で個人や小グループに対して指導している。
145	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず鑑賞や創作活動を実施する。 ・歌唱を行う場合でも、密にならないよう配慮してパート練習を行う
146	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、鑑賞と器楽(ギター)を中心に授業を進める。
147	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクをしたまま、一方向を全員が向いて歌唱する。 ・武道場や体育館など、換気が十分にでき、2mの間隔をとれる会場で歌唱する。
148	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、三味線を中心に行った。3年生はカップス(プラスチックコップ)でリズム創作を行った。
149	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画の順番を変更し、鑑賞、器楽(ギター)の活動を先に行った。 ・歌唱の活動を行う際には、パートごとに教室を分け、(ソプラノ→第一音楽室、アルト→音楽準備室、テノール→第二音楽室)各パート1列か2列に整列させ、同じ方向を向いて歌わせる。
150	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、器楽(ギター)やクラッピング、鑑賞を中心に行う。 ・新1年生に対して、クラッピングを通して読譜力をつけることやリズム創作につなげていく。
151	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前後の手洗いうがい ・身体接触のない活動(肩たたきは触れないように行う) ・歌唱はマスクをした状態で行う。座席の前後左右は1m以上間隔を空け、こまめに換気を行う。 ・リコーダーは実施しない。器楽はギターを予定している。 ・鑑賞や創作の授業においてもグループ活動は最小限にとどめ、短時間で行う。
152	<ul style="list-style-type: none"> ・6月上旬までは合唱を行わず鑑賞を中心にカリキュラムを組んだ。 ・唱歌や校歌はマスクをつけ、着席したまま鼻声や小声で歌わせた。 ・7月から合唱練習を行うが、パート練習は密にならないように配置し、マスクを着用させる。合唱練習は教室で着席したまま行う。 ・音取りが完了したら外など広い場所で合唱練習を行う予定。
153	<ul style="list-style-type: none"> ・7月までは鑑賞や創作、マスクを外さずに演奏できる器楽合奏を実施。
154	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱及びリコーダー等の器楽は実施していない。 ・鑑賞を中心に授業を進めている(2・3年) ・手拍子などで簡単なリズム打ち(1年生) ・楽典や共通事項等に関するプリント学習(全学年)
155	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、鑑賞を中心にした学習をすすめている。 ・アルトリコーダーについては、マスクを外すことに抵抗のある生徒もいるため、ビニールの間仕切りを用意し(急遽、作成しました)、廊下にて一人ずつ個別指導しています。
156	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室を広く使い、密にならないようにマスクを着用し歌唱している。 ・鑑賞教材や箏などの授業を中心に4月から行っている。 ・共有する譜面台などはアルコール消毒をし利用している。 ・換気の徹底に心がけている。
157	<ul style="list-style-type: none"> 合唱はコの字型を外を向いて歌う フェイスシールドをする 間隔を取る

158	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は密にならないよう生徒間の間隔を開けて、常に換気を行い実施した。 ・例年の年度計画を見直し、歌唱の実技は各学年1学期に2回だけ、練習時間も15分以内に 短縮し、ラララで音程を取るなどかなりポイントを絞った指導を行った。 ・年間を通して創作や鑑賞の時間を増やす方向性を検討中である。 ・器楽では三味線・ギターを実践しているが、使用前・後には必ず手洗いを実施している。
159	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞と創作、器楽を中心にカリキュラムを組む。 ・新1年生の校歌の指導は、上級生の範唱を視聴したり、給食時の放送で流す等して、覚えさせている。 ・マスク着用のまま歌唱させた。(しかし十分な呼吸とならず、難しいのが現状。)
160	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を中心としたカリキュラムを組む。 ・合唱の練習は、音楽室と別室にわかれて密にならないよう配置し、パート練習する。 ・歌唱は体育館で密にならないよう配置し、実施する。 ・実技では、器楽(リコーダー)のかわりに指揮法を取り入れる。
161	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と創作の活動を先にカリキュラム組む。 ・当面の間、歌唱の学習は教材のリズム打ちや楽譜の読み取り等を行う。
162	<ul style="list-style-type: none"> ・窓を開け、換気に十分気をつけるとともに、生徒同士の間隔を空け、体面にならないようにするなど、密にならない生徒の配置の工夫。(生徒数が10人前後の少人数のため、注意しながら歌唱指導も行っている。)
163	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱指導は、必ず換気をし、隣の人との間隔をあけてマスクをつけたまま、短時間で行い、その帯活動を積み上げる。 ・歌唱のテストは別室で、一人テストを行うことに、換気する。 ・鑑賞指導は参考曲も取り上げるなど、幅広い曲を鑑賞する。 ・リコーダーは、水滴を落とさないよう、手入れ用のハンカチを用意させる。
164	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は音楽室の窓を全開にして、生徒同士の間隔をできるだけ広くとり、マスクをして歌います。 ・いつもの男女別の合唱は各2列ですが、4列にして、横の間隔を広く取っています。
165	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、合唱は行わず、鑑賞やリズムアンサンブルを中心にカリキュラムを組んでいます。
166	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の授業を前期に位置づけ、単元を入れ替えている。 ・歌唱活動を行うときは、マスク着用のまま歌って飛沫が飛ばないようにしたり、体育館などを利用して密閉を避けたりしている。 ・音取りなどは、ハミング程度にとどめている。
167	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の間、歌唱や器楽の授業は行わず、鑑賞と創作の授業を行う。 ・器楽でアルトリコーダーの授業を行う場合は、生徒同士の間隔を十分にとり、手入れで使 用したガーゼはビニール袋に入れて速やかに処分する。 ・1年生の校歌指導は、上級生が以前に歌ったものを録音したCDを用いて、ある程度聴いて覚えるようにする。 ・授業で使用する音楽室は、こまめに換気をする。
168	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生の校歌指導については、始業前等の時間に音源を流しておき、繰り返し聴くことで覚えさせるようにする。 ・当面は歌唱と器楽(リコーダー)は行わず、鑑賞の学習を中心にを行う。 ・手拍子によるリズム打ちの活動を取り入れる。
169	<ul style="list-style-type: none"> ・当面歌唱は行わず、鑑賞を中心に授業を組み立てている。 ・リコーダーの指導は、ソーシャルディスタンスを取り、運指を中心に行っている。 ・教室が2つあるので、密にならないように配置してリコーダーの練習を行っている。 ・打楽器等を活用して、リズムの学習を多くしている。
170	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱やリコーダーは行わず、鑑賞や楽典等を中心に授業を進める。 ・音符や休符、拍子の学習を行った後、その応用としてリズム打ち(グレード方式)をする。 ・合唱のパート練習は、密にならないよう、教室を分けて実施。生徒間の距離も保つようにさせる。
171	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞と箏を中心に授業を進める。
172	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は生徒同士が対面しないよう前向きで行っている。 ・教員が範唱したり、机間指導する際にはフェイスシールドを着用し、授業を行っている。 ・新1年生の校歌の指導は、参考音源を動画配信し、家庭学習で覚えてもらう。 ・合唱のパート練習は教室を分けて行っており、部屋の換気も行っている。 ・リコーダーの学習は当面は行わず、鑑賞や創作を中心に行っている。
173	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルディスタンスを十分に確保した歌唱指導
174	<ul style="list-style-type: none"> ・春先に全校生徒にアンケートを実施し、歌唱以外に興味がある音楽活動を明記させたところARや鍵盤楽器・打楽器とのアンサンブルや、お気に入りのクラシックやpop音楽等のプレゼンなどが挙げられた。現在、各学年ごとに実施中である。 ・授業開始と終了の挨拶時にピアノで修礼を演奏させている。(??~??の和音) ・以前から行っているリズム聴音～メロディ創作～歌詞創作も段階を経て行っている。
175	<ul style="list-style-type: none"> 1クラスの人数が少ないので、歌唱の場面では音楽室いっぱい広がって行っている。 また歌う時間は、50分のうち、長くて25分程度としている。
176	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞とリズム打ちを中心にカリキュラムを組む。

177	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱(合唱)や器楽を避け、リズム創作や鑑賞を中心に授業を行った。 ・歌唱教材の授業の際には、マスクをしたまま鼻歌で音程を取るようになった。 ・出席番号の奇数・偶数で分けて鼻歌を歌うようにした。 ・合唱の声をつくるために、自宅で行える発声トレーニング(ミッキーの声真似)を宿題にした。 ・生徒の間隔を約1m(できる限りの最大間隔)になるようにし、ガムテープで目印をつけて生徒の座る位置を分かりやすくした。 (当校は音楽室がカーペット仕様のため、机や椅子を使用せず床に直接座る状態となっている。) ・音楽室への入室前のアルコール消毒、退出後の手洗いを徹底するよう喚起した。
178	<ul style="list-style-type: none"> ・向かい合わせにならず、間隔をあげ、正面を向き窓に向かって歌う。また部屋や場所を分散させて密にならないように歌たわせる。(窓を必ずあげる、冷房をかけていても同様)
179	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が少人数の為、密にならない環境ではあるが、座席間を広くして歌唱や器楽活動を行っている。 ・鑑賞や創作の授業を優先的に進めている。
180	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱とアルトリコーダーの実技の学習は行わず、鑑賞と器楽(ギター、三味線、打楽器)を中心に授業を進める。 ・ボディパーカッションでリズム学習を行う。 ・パソコンも用いながら創作活動を行う
181	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクは全員が着用。音楽室全体に座席を配置し、生徒同士の間隔を開けるようにしている。窓は常に開け、生徒が触れる場所(座席、窓、ドア等)の消毒を行っている。 ・当面、歌唱は行わず、鑑賞や器楽(箏)、創作を中心に授業を進める。 ・箏の学習では、音楽室ではなく多目的ホールを使い、生徒同士の感覚を開けるようにした。授業前後の手洗い、教室入り口での消毒、使用する爪の消毒を徹底した。
182	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校なので、十分な間隔を確保することができます。しかし、当初は鑑賞や、箏、リズム活動などを中心に行い、7月から少しずつリコーダーや歌唱を入れ始めています。
183	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は、歌を聴いたり、声を出さずに、頭の中でイメージをしたり、ハミングで歌う。 また、歌唱の表現の工夫を学習したり、範唱のCDに合わせて指揮で表現したりする。 ・創作活動は、手拍子で表現したり、音楽ソフトを使った音楽づくりを予定している。 ・発表や交流活動は、教師が読み上げたり、意見や考えをまとめたものを配布する。
184	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の音楽教育研究会にて、教材をネット上で共有する取組を行っている。歌唱の工夫や、創作・鑑賞のワークシートなどを投稿してもらい、共有している。
185	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞と創作を中心にカリキュラムを組み、授業を進めている。
186	<ul style="list-style-type: none"> ・密にならないよう机を離し、マスクをしたまま小さい声量で歌唱指導をする。 ・合唱の練習は、音楽室と隣の教室を使用し、パート練習をする。 ・当面、リコーダーの練習は行わず、鑑賞を中心にカリキュラムを組む。
187	<p>本校は全学級が20名前後の小規模校で、ある程度のスペースは確保できているので、下記のような対応で授業を行っている。</p> <p>○臨時休業解除～5月末まで</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、リコーダー等の授業はおこなわず、鑑賞を中心とした授業を実施 <p>○6月～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できる限り通常の授業を実施するようにしている。 ? 歌唱時にもマスクの着用する。 ? 換気を徹底する。(授業中も窓を開ける) ? ソーシャルディスタンスを確保する。(列にこだわらず、1～2m空けた座席の配置) ? リコーダーではアンサンブルや合奏は避け、個別練習を中心に行う。
188	<ul style="list-style-type: none"> ・当面歌唱は行わず、箏と鑑賞を中心にカリキュラムを組む。箏は2人に1台しかないので、ソーシャルディスタンスを保ちながらペア活動としている。授業前に手洗い→消毒、授業後に消毒している。 ・1年生の校歌は、HPに掲載し、休業期間中に聞くよう指示した。校歌の歌詞や歌詞の意味等を書いたプリント、楽譜とともに配布した。
189	<ul style="list-style-type: none"> ・机間を十分あけて配置している。 ・歌唱の際は、できるだけ座席で歌うが、まとまって歌いたいときも、向かい合わせずに並んで歌わせる。 ・リコーダーの学習は計画を入れ替えて、年度後半に予定している。 ・学習活動は、鑑賞やワークの比重を例年よりも多めにしている。
190	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞や創作の単元から実施している ・武道館など広いスペースでの授業を予定(7月中旬頃より)
191	<ul style="list-style-type: none"> ・7月までは歌唱を行わず、創作や鑑賞の授業を行う。 ・歌唱授業ではマスクを取って歌うが、窓を開け、隣との距離を保って歌う。 ・熱中症を防ぐためにクーラーをつけ、同時に換気のために窓を開ける。 ・授業前と授業後のアルコール消毒を徹底する。
192	<ul style="list-style-type: none"> ・座席は例年より距離を置くようにし、マスクを付けて授業を受けさせている。 ・今のところ、リコーダーは実施していない。楽典や鑑賞教材、楽曲理解を中心に行ってきた。 ・歌唱はマスクをつけたままで行っている。
193	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は、同じ方向を向いて、生徒同士が2m以上の間隔をあけて配置し実施している。 ・音楽室は、窓やドアを開け、扇風機をまわして、教室の換気ができるようにしている。
194	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や器楽は行わず、1～2学期に鑑賞する内容を実施 ・リズムを考え、それを手拍子する活動 ・6月下旬からフェイスシールド(学校で作製)をロ元にあてソーシャルディスタンスで斉唱(校歌など) ・7月から体育館でソーシャルディスタンスで斉唱

195	<p>音楽の授業について</p> <p>4月から現在まで、合唱と鑑賞活動、音楽記号やリズム創作などをバランスよく行うようにしています。歌唱の授業については管理職と相談し、以下の点に配慮しながら実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽室の窓を全て開け、扇風機をつける。(風の通り道をつくる) 現在は熱中症対策として冷房をつけながら窓を開けている。 ・教室の左右全体に広がり、できる限り人との距離をとる。 ・マスクは絶対に全員がつける。忘れた場合は、予備のマスクをつけさせる。 ・消毒は毎日放課後に行っている。(生徒がふれるドアや机上など) ・手を組んだり合わせたりするなど、人と人がふれ合う活動を避ける。 <p>今年は例年以上に歌唱活動を少なくし、その代わりに昨年度の先輩の合唱動画を見たり、CDで聴いて覚えたりする活動を多く取り入れています。リコーダーについては実施していません。</p>
196	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の授業を中心にしている。休校中の課題「自分が推薦する元気になる音楽」のレポートをもとに、授業の冒頭に3曲づつ聴き、その曲の魅力について皆で共有している。その後、例年行っている「春」や「フーガ ト短調」などの鑑賞の授業に入っている。内容は、例年よりもたっぷり時間を使い、深めたり広げたりしている。 ・生徒同士の机の間隔を、音楽室で可能な限り離し(120cm程)、リコーダーは10分程度で行う予定。 ・リズムの読譜学習を充実させ、ポディーパーカッション等で、グループで音楽作りができないか考え中。
197	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱を控え、鑑賞と器楽を中心に授業を進める。 ・器楽をする際は、密にならないように配置し取り組む。
198	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画を柔軟に入れ替え、鑑賞教材・活動等を先行して実施 ・歌唱教材においては、高唱せずに鑑賞及び口ずさむ(マスク着用)程度とする。 ・今後歌唱する際には、実施箇所を増やす(空き教室)など密を避けて実施する。
199	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱を体育館で行った。3密にならないように、窓を開け、ソーシャルディスタンスをとって並び実施した。 ・鑑賞を中心としたカリキュラムを組んでスタートした。
200	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室の座席は可能な限り離し、授業後は消毒を行う。 ・合唱は、両手を広げた間隔で実施する。(マスク着用) ・パート練習は、2m間隔でポイントを打った廊下も活用し、実施する。(暑さ対策のため、扇風機を常設) ・リコーダーは、約2m間隔でポイントを打った窓の棧を譜面台代わりにし、実施する。 ・ペア学習は、距離をとって実施する。また、ワークシート等を黒板に貼り、他の生徒の考えが共有できるように工夫する。
201	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は1m程度の間隔をとり、マスク着用のままで行う。 ・1時間の授業を歌唱のみで行うことは無く、器楽や鑑賞と並行して行う。 ・歌唱の割合を減らし、器楽と鑑賞を中心に行う。 ・器楽(リコーダー)も十分な間隔をとって行う。
202	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生の校歌の指導は、先生の範唱を動画配信し、家庭学習で覚えられるようにした。 ・歌唱は、マスクをしたままハミングでメロディーやパートの音を取っていた。 ・歌詞の理解や作詞者の思いなど、学習を中心にした内容に時間をかけた。 ・話し合い活動は椅子の向きのみ移動させ、時間を設定して行った。 ・リズム唱や指揮など、声を出さない学習を工夫して行った。 ・教室の配置(最大限の広がり)と換気(窓あけ)を徹底した。
203	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が少ないため、普段通りの授業を十分な距離をとり、マスクをつけて行っています。 ・リコーダーを使った授業はしていません。 ・リコーダーの代わりに木琴や鉄琴などの鍵盤打楽器を使用し、アンサンブルを行っています。
204	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室に入室する際に手指消毒を行わせ、マスク着用を基本的に学習活動を実施している。 話し合い活動を行う際もマスクを着用させ、1mを目安に互いの距離を意識した隊形をとるようさせている。また歌唱・合唱・リコーダー活動時にはマスクを外して活動させるが、肩が触れあわない片腕以上の距離を保つようさせ、活動後に手指消毒を行うしている。 ・音楽室に斜めに風が通るように、窓・ドアを開けている。また気温が高くなった時は入口のドアを1箇所開け、向きと高さの違う扇風機を2台まわし、冷房をかけながら授業を行っている。 ・合唱活動におけるパート別学習活動について、パート毎に別の教室を借りて練習を行っている。その際の各教室の換気についても、前項と同様に行っている。
205	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱教材は、ワークシートを用いて歌詞内容を掘り下げて考えさせる時間を増やす。 ・歌唱練習・リコーダー演奏は、生徒は机上の飛沫防止用カバーを用いて行う。教師は、フェイスガードを用いて行う。 ・実技テストは、身体ゆらし・指揮による強弱表現、リズム打ちなどによって行う。

206	<ul style="list-style-type: none"> ・共同使用楽器の除菌 ・音楽室のピアノ・机等の除菌 ・楽器使用の際は時間の配慮・向きなどの配慮を行う
207	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室に入室する際、手指消毒・マスク着用を原則としている。歌唱・合唱・リコーダー活動を行う際にはマスクを外して活動させるが、活動終了後、手指消毒・うがいを励行させている。 ・合唱活動におけるパート別学習活動については、各パート毎に教室を分けて実施している。 ・話し合い活動中はマスクをつけさせ、1mを目安に片腕以上の距離をとって隊形を組むようにさせている。 ・音楽室に斜めに風を通すように換気しながら授業を実施している。
208	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞と創作？(ボディ・パーカッション)を中心に授業を進める。
209	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカやリコーダーは、当面運指を中心とする。 ・歌唱は、屋外で行う。 ・身体表現や鑑賞に重点をかけて指導する。
210	<ol style="list-style-type: none"> 1 歌唱は蜜を防ぎ、マスクをつけて小声のみの活動。 2 リコーダーは指遣いと理論のみの活動。 3 リズム練習を強化している。(今後、鑑賞や音楽理論へ) 4 室内と手指消毒配置。
211	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時休校中に合唱の動画配信を行い、家庭学習を取り入れた。 ・歌唱の指導はフェイスシールドを全員が使い、音楽室と美術室に分かれて密にならないよう配慮し、パート練習をする。 ・打楽器アンサンブルや音楽づくりを中心にカリキュラムをつくる。
212	<ul style="list-style-type: none"> ・例年より楽典の時間を取るようにしている。 ・教材の順序を入れ替え鑑賞、リズム創作の時間を増やしている。 ・歌唱についてはマスク着用のままハミングで旋律を歌うようにしている。 ・座席の間隔を通常より広く開けて着席している。
213	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年共に、歌唱指導のカリキュラムを変更して授業を行っている。 ○ 生徒の座席の間隔を空けて授業を行っている。 ○ 授業前後に、必ず換気を行っている。
214	<ul style="list-style-type: none"> ○松江市版学校再開に向けた健康管理に関するガイドラインをもとに実施 ・歌唱活動は、密閉した空間にならないように、窓を少し開けた状態、及びエアコン稼働時は、換気扇を併用して取り組む。 ・歌唱の際は、マスクをしたまま歌う。テストをする時ははずして行うが、部屋の窓を開け、人と人の距離をとって行う。 ・リコーダー演奏で練習する時は、話をしないように注意喚起する。 ・グループでの話し合いは、マスクを着用し、近づきすぎないように距離をとり行う。
215	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルディスタンスをとり、同じ方向を向いてマスクを着用して、着席したままハミングで歌唱を行った。7月に入ってからは、ソーシャルディスタンスをとり、同じ方向を向いてマスクを着用して、着席したまま、あまり大きくない声で歌唱を行っている。着席して歌うのは、マスクをつけての歌唱は、貧血、呼吸困難や熱中症の心配があるからである。 ・リコーダー演奏はまだ行っていない。 ・リズム打ちは、マスクを着用し同じ方向を向いて行っている。 ・対面となるようなグループ学習はまだ避けている。意見等については、記述したものを教師で紹介するようにしている。
216	
217	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模校であるため、音楽教室内では10名程度での授業となる。室内では十分に間隔をあけて、席や立ち位置に配慮している。 ・歌唱はマスクをつけたまま行う。
218	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は行わず、鑑賞・1年は和楽器(箏)、2・3年生はリズムアンサンブルを中心にカリキュラムを組む。 ・歌唱教材は、曲の特徴・作曲家・曲の生まれた背景・表現の工夫などを中心に学習する。
219	<p>歌唱は全員マスクをして歌わせているが、指導者自身の呼吸が苦しくなったため、生徒にもプレスをとれるように、鼻は出して口だけマスクで覆った状態で歌わせている。</p> <p>パート練習もマスクを着用して、できるだけ間隔を空けて、歌うようにしている。</p> <p>今後、熱中症などの心配が出てくると思われるので、その際は、音楽室ではなく体育館など、十分にソーシャルディスタンスの間隔がとれる場所に移動し、マスクは外して歌わせたいと考えている。</p> <p>歌唱だけでなく、リズム打ちや簡単なリズム創作の発表、模範CDなどの聞きとりや旋律の特徴の発表など、歌うことだけにないように気を付けている。</p>
220	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞や楽典の授業を中心に実施する。 ・合唱のパート練習は1パートずつ順番に行い、それ以外のパートはワークシートをさせる。 ・合唱コンクールは実施するが、例年は2曲歌うところ、1曲のみとし、無観客で学年別に実施する。
221	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は、体育館で密にならないよう配置し、実施する。 ・鑑賞では、グループワークの代わりにワークシートをグループで回し、他の人と意見交換する。 ・当面、器楽(とくにリコーダー)、創作は行わず、歌唱と鑑賞を中心に授業を進める。
222	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は集まったパート練習等は避け、1メートル以上間隔をとり、フェイスシールドを身に付け、聞える範囲での声で発声させる。 ・リコーダーの授業では教え合いなどグループ演奏を取り入れず、必ずフェイスシールドを身に付け、1メートル以上間隔をとって各自個人で練習に取り組ませる。 ・授業後の手洗いうがいのよびかけ。

223	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日は、外にシートを弾いて、間隔をあけて座る。歌唱・器楽・鑑賞は、通常に活動している。 ・天気の悪い日は、音楽室で鑑賞を中心に行っている。
224	<ul style="list-style-type: none"> 間隔をあけて歌う[マスク着用] 鑑賞の授業を大目に行っている
225	<ul style="list-style-type: none"> ・窓を全部開け、換気の徹底。 ・基本的にマスク着用。 ・歌唱や器楽(リコーダー)は行わず、鑑賞単元や飛沫の飛ばない器楽単元を中心に行う。(箏やギターなど)
226	<ul style="list-style-type: none"> ・各授業後ごとに消毒をする ・感染リスクの少ない教材から行う ・歌唱の授業では、楽典の学習を取り入れながら行い、長い間歌うことを避ける
227	<p>休校中課題において、音楽と生活の関わりという題材でアンケートを全生徒に実施。登校が始まり、3年生に分析をさせて実態調査を行う授業に取り組んだ。プロのギターリストを招き、ギター講習かいを2度にわたり実施予定。</p>
228	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱は、基本、自分の席(出席番号順)で前を向いて歌う。 ・授業中は、マスク着用。(歌唱も)・・・窓を開け、エアコンをつけながら。 ・鑑賞や創作が中心。歌唱は大きな声で歌わないように気を付けました。 ・学校としては、体育館や武道館が空いている時は、窓を全開にして距離を取りながら、マスクをはずして歌って良いと言われていました。
229	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱指導を後期の授業に移動し、前期に創作を実施する。(リズムトレーニングなども含め) ・生徒が作成した詞(作曲コンクール課題詞)をもとに簡単な曲づくりなど ・歌唱活動ではCDを聴かせたり、ハミングで歌わせ、音程を確認したり曲の雰囲気を感じたりできるような取組。(マスク着用) ・ギターの指導では使用後、除菌効果のあるギター用スプレーで消毒を行う、せっけんでの手洗い指導。
230	<ul style="list-style-type: none"> ・創作をしながら、リズム表現、旋律を口づさむなどの表現を行っている。 ・旋律創作では、キーボードを利用し、使う音を限定して、イメージに合う旋律を試行錯誤させている。 ・個人活動では限界があるため、あまり密にならないように配慮しながら、仲間と意見を出し合う時間をとっている。 ・同じテーマでも、個性が出るため、それぞれの感じ方を知り、楽しみながら活動ができた。 ・期末試験において、授業で実施した創作をテーマを変えて出題した。 2年生「コロナウイルスに負けない中学校生活」 3年生「コロナウイルスとわたし」
231	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画で秋以降に実施を予定していた鑑賞と創作の分野を前倒して実施している。 ・7月から、感染拡大防止のための留意点(マスクは着用したままで、向かい合わないよう一方を向いて歌う、声を前に出すのではなく、響きを体の中にため込むつもりで歌う等)を授業で一通り扱ってから、朝と帰りの時間の学級活動でも歌うことを始めている。 (歌うのは1回のみ、授業でも最大5分を越えない) ・今後、感染状況が収まらない場合は、歌唱の分野を扱うときは、音楽室ではない場所(例えば中庭など)で、間隔を十分とりながら扱いたいと考えている。
232	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初は、鑑賞を学習した。次にアルトリコーダー、現在は歌唱活動をしている。 ・歌唱活動は、間隔をあけ、互いに違う方向を向かせている。 (教室の中心から外に向くような形で) ・教室が広く、生徒数が少ないので(1クラス5・6名)、間隔を2メートル以上は明けて活動することができている。
233	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は行わないが、鑑賞の授業と関連をさせ、合唱曲の作曲者の工夫に焦点を当てて授業をしている。 ・リコーダーの授業は行わず、説明・指番号のみの指導にしている。実技は、手拍子の音楽やギターを取り入れる予定である。
234	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱は歌うことはせず、マスクして歌詞を音読して、歌詞の小テストを行った。 ・リコーダーは楽曲解釈した後、階名書き指使いCDIに合わせ指使いだけした。
235	<p>本校は小規模校であり、1学年で最大3名の生徒が授業を行っている。</p> <p>以前より机の間隔はとっているが、さらに隣同士の間隔を広げて授業を行っている。</p> <p>歌唱では、生徒はマスクをはずして授業を行い、教師はマスクを着けて歌唱、指示を行っている。</p>
236	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱やリコーダーを実施する際は、窓やドアを開け、換気を良くして実施する。 ・クラスの人数が少ないので、広い音楽室で距離をとり、同じ方向を向いて実施する。 ・授業後は、机やドアの取っ手をアルコール消毒する。
237	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年半数クラスで授業を行い、密にならない環境を作っている。 ・器楽(リコーダー)については、屋外で活動している。
238	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞・ボディパーカッションを中心としたカリキュラムを組む。
239	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の際には、フェイスシールドを着用し、換気をしながらできるだけ広がって一人一人の間隔をとり、同じ方向に向かって歌うようにしている。 ・連続して授業がある場合は、休み時間中にアルコールを噴霧して空間の消毒も行う。
240	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は、教室の換気を行い、マスクを着用して可能な限り離れて行っている。

241	<ul style="list-style-type: none"> ・席は前後左右とも間隔あけ、換気を行いながら授業を行う。 ・授業中は、マスクを着用。 ・合唱は行っているが、音量を求めるような指導はせず、音程をきちんととることを重視。 ・マスクをした状況で、歌い続けるのは困難なため、歌唱半分、残りは器楽や創作、鑑賞というように授業を組み立てている。 ・個別指導の場(廊下)を設け、歌唱指導を実施。
242	<ul style="list-style-type: none"> ・本校は生徒数が少なく、1クラスが最大で15人であり、生徒の間隔を十分確保することができるため、音楽の授業では机の間隔をできるだけ広く取り、横は机1つおき、縦は互い違いになるように着席させて授業を受けさせています。 ・リコーダーの指導の際は、着席したまま演奏させています。 ・歌唱指導の場合は、着席したままマスクを着用して歌わせていますが、音取りをする場合は、4人ずつソーシャルディスタンスをとってピアノの周りに集まり、ピアノの音をよく聞ける状態にして歌わせています。 ・リコーダーと歌唱の実技試験については、隣接する教室で個別に演奏させています。
243	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱指導は行わず、鑑賞、創作、リズムづくりなどを中心に授業を進めている。
244	<ul style="list-style-type: none"> ・箏、ギター、鑑賞、リズムに関わる活動を中心に進めてきた。 ・最近では時間を制限し、間隔を空け、マスクをつけたまま、換気しながらエアコンをつけた状態で、軽い歌唱を開始している。(大きな声では歌っていない) ・7月中旬に、合唱コンクールの曲を決めて、2学期より本格的に開始を目指している。 時間が少ないので、曲数を減らし、難易度も落とした曲を候補としている。
245	<ul style="list-style-type: none"> ・クラッピングでのリズムアンサンブルを中心に取り組んでいる。(楽器の使用は消毒が望ましいが、時間的に難しいため手拍子にした。) ・鑑賞を前期に増やしている。 ・歌唱はハミングなどで行う。実際はあまりできていない。 ・リコーダーはなるべく運指を覚える等した後、屋外で15分程度、生徒同士の間隔をあけるor半数ずつ取り組んでいく予定。7月後半の開始を検討中。使用後唾を拭き取る為のタオル・ペーパーを持参させ、ビニール袋に入れて持ち帰らせる。
246	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、鑑賞、ICTを用いた創作、器楽(ギターや箏)を中心に授業を行う。 ・器楽では楽器を使用する前後に手洗いを徹底させる。 ・楽器使用後にクロス等で拭き取る。
247	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の活動は、間隔をとって並んだり窓を開けたりして、密にならないように行う。 ・パート練習では、それぞれの部屋をはなして行う。また、生徒同士が近づきすぎないように配慮する。 ・どの活動でもマスクを付けて行う。
248	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱教材を口づさむ程度にし、その後アンサンブルに変化させ演奏した。 ○箏の実習を取り入れ、演奏をステップアップさせた。 ○少人数なので、シロフォンやビブラフォンのアンサンブルを取り入れた。
249	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はマスクを着用して、人と人との距離をとりながら換気しながら実施する。 ・音楽室の出入り口に消毒液を置き、授業前後で消毒を実施する。 ・共用で使用する楽器は触れないように指導する。
250	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生の校歌の指導を、動画配信で行った。 ・器楽(ギター・箏)を中心に授業を進める。 ・合唱の練習は、屋外で生徒同士の間隔を2メートル距離をとって、同一方向を向いて行う。
251	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱を行わず、鑑賞を中心にカリキュラムを組む。 ・休校中の課題であった器楽(リコーダー)のテスト(教師と生徒1対1)を行った。 ・合唱の練習では、最初の段階ではハミングで音取りを行う。
252	<ul style="list-style-type: none"> ・当面歌唱・器楽(リコーダー)は行わず、鑑賞・器楽(箏・打楽器)を中心に行う。 ・座席は1メートル程度間隔を空け、できるだけ密集・密接を避ける。 ・窓を常時開放し、換気を行う。 ・授業開始時は体調不良者の有無を確認する。授業後は、使用した机・イス等を消毒し、次時の授業に備える。
253	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を中心に学習を進める。 ・歌唱、リコーダー指導は音楽室で間隔を広くとって行い、授業後は毎回、消毒作業を行う。(音楽室は普通教室よりも広い)
254	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の間は、鑑賞と手拍子による表現を中心に授業を進める。
255	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は密にならないように配置し、歌いこむことがないように最小限の時間で実施する。 ・当面合唱曲は取り上げず、日本歌曲などを斉唱で生徒同士が密集しないような配置をとった上で行う。 ・器楽のアルトリコーダーの学習においては息を入れずに行い、家庭学習で吹いてもらう。 ・歌唱において、表現の活動の一つである指揮の学習を取り入れながら進める。
256	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の創作・言葉とリズム(自作)から発展させて創作活動を行っている。 ・リコーダーは運指だけ動かし、いずれ実技テストを行う。リコーダーの教材から発展させ、コードネームや世界の音楽まで発展させる。 ・合唱コンクールにとらわれないので、自由に教材を選択しながら時間を確保しながら幅広い音楽を指導することができている。 ・太鼓はダンボールやプラスチックを蓋にしたミニ太鼓を一人ずつ用意し、ポレロのリズムからリズム打ち、リズム合奏(これから)を行っている。

257	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座席は互い違いにし、前後左右1.5m程度の距離をあけている。 ・ 歌唱はマスクを必ず着用し、10分～15分程度歌ったら、両側のドアを開けて換気する。 ・ リコーダーはまだ行っていません。 ・ 歌唱と鑑賞や創作の授業を組み合わせで行っています。
258	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生の校歌の指導は、歌詞の内容や楽譜に書かれている記号・用語等の分析を行い、授業内では口ずさむ程度に歌わせる。早く校歌を覚えてもらうため、校歌の旋律のリズムを手拍子しながら叩かせる。 ・2、3年生は、鑑賞の学習から先に進める。 ・鑑賞の学習が終わり、合唱コンクールに向けての練習を行わなければいけない場合は、第1音楽室と第2音楽室にパートごとに分かれ、常に換気をしながら、密にならないように配慮する。 ・歌唱の指導では、常にマスクをし、生徒の健康状態に配慮しながら行う。
259	<p>学校全体で行っている対策に加え、下記の内容を音楽科で行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱隊形を作らず、普通教室での並び方で、広がって歌わせている。 ・パート練習は一列横隊で、同じ方向を向かわせて歌わせている。 ・常時換気し、扇風機をつけた状態で授業をしている。 ・話し合い活動を避け、表現を工夫するための方策なども個人で考えさせている。 ・歌唱として扱っていた教材を、比較鑑賞に変え、長調、短調の特徴や音階について学ばせる予定。(「花」「荒城の月」) ・創作で、リズム譜に言葉をつける作業を、手拍子のみの変更して演奏させる。 ・器楽(リコーダー)は、階名唱のみ。
260	<p>当面の間、歌唱・リコーダーは行わず、鑑賞・楽典を中心にカリキュラムを組んでいる</p>
261	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はせず、ハミング程度を行っている。 ・演奏の技能や工夫は、キーボードを使った創作活動で評価している。 ・キーボードは授業が終わるごとに消毒している。 ・極力机を離し、授業が終わるたびに手を洗わせている。
262	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を先に行う。 ・歌唱は前後、横の間隔をあけて行う。 ・パート練習は、音楽室以外の部屋も利用する。 ・歌唱をできるだけ広い場所(体育館等)で行う。
263	<p>YAMAHAのHPから管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験</p> <p>https://jp.yamaha.com/products/contents/winds/visualization_experiment/index.html</p> <p>の映像を見せて、どのようなときに飛沫があるのかを確認させる。</p> <p>席をできるだけ離す。</p> <p>マスクをしてから歌唱させる。</p> <p>リコーダーは高音域のない曲を選択する。水抜きの際にウインドウに布を当てさせる。</p>
264	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の順番を変え、鑑賞等指導可能なものから行っている。 ・歌唱は、マスクやフェイスシールドをして距離を取り、窓・出入り口のドアを開け換気をしながら行う予定。
265	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生の校歌の指導は、上級生の範唱を学校ホームページに掲載し、配布した楽譜を見ながら家庭学習で覚えてもらう。(休業期間中の課題とした。) ・当面、歌唱は行わず、鑑賞と創作(リズムのみ)を中心に授業を進める。器楽はボディパーカッションを今年度のカリキュラムに取り入れる。 ・合唱コンクールが10月末に控えているため、夏季休業以降はハミングによる音取りから歌唱の活動を再開したいと考えているが、世の中の情勢によっては合唱コンクール自体の中止も想定している。
266	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞と手拍子や打楽器を用いたリズムアンサンブルを行っている。 ・創作活動に力を入れている。音を確かめる場合も、密にならないように、鍵盤楽器を使っている。 ・新1年生の校歌の指導のみ、範唱を聞き、十分な距離を取った上で、マスク着用のもと、小さい声で練習をした。主として家庭での練習を課している。
267	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、クラシックギターと鑑賞を中心に行う。 ・歌唱はマスクをしたまま、距離をとった状態で小さな声で歌う。 ・休校中は、Youtubeの限定公開を利用し、動画配信して、歌唱や鑑賞の課題を出した。
268	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は、器楽室の楽器を歌唱室に移動し、器楽室を広くして使用している。前列のイスと2m、横は1mの間隔を空け、31人で使用している。 ・ピアノを弾き語りができるようにするため、ピアノの上に100×80の透明なシールドを固定して飛沫感染防止対策をとった。(固定するために、木材を加工し、簡単に取り外しができるようにした。) ・黒板前の中央に透明なシールド(同型)を設置。シールドを指揮台の上に横長に置き、マイクスタンド2本で両側から支え、教師が中央で立って歌ったり、指導ができるようにして飛沫感染防止対策をとった。(取り外しが簡単である。)
269	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞や創作を先にまとめて行った。 ・机を使わず椅子だけを並べ、前後左右の間隔を出来るだけ広く取って授業を行った。 ・話しあい活動を極力避けて行った。 ・創作で、打楽器や手拍子を使って表現させた。(声をなるべく出させない) ・創作で、グループ活動ではなく、個人での活動にした。
270	<ul style="list-style-type: none"> ・手拍子でリズムづくりを行う。学年に応じて使うリズムを変えていく。 ・作ったリズムに歌詞をつけて創作につなげていく ・当面は鑑賞を中心に授業を進める

271	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期は歌唱とリコーダーの授業は行わず、鑑賞とボディパーカッションを中心に授業を進めている。 ・合唱のパート決めは、換気された音楽準備室に一人ずつ呼び、マスクをした状態で発声をさせて決めた。
272	<p>音楽室の窓(金沢の街並み)に向かって、間隔をあけて歌っています。</p> <p>3グループに分けて、密集にならないように工夫しています。</p>
273	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業を制作。自宅45～50分 一つの単元を学ぶ。 ・授業再開後に、自宅で学んだ曲をひとりずつ廊下にて発表→評価。 ・音楽室は使わず、教室の机をひとりずつ話した状態で、ICT活用の鑑賞の授業を展開。 ・コンピュータ室にて創作の授業を展開
274	<p>1リズムに好きなキャラクターなどをあてはめ、ラップ風に考えた創作活動をする</p> <p>2歌唱教材(共通教材)では曲の構成や、歌詞に込められた作詞者の思い、楽曲ができた背景の調べ学習をしたり、範唱CDに合わせ指揮で表現したりなどの活動をする。</p> <p>3 合唱曲のパート練習、歌唱の旋律はハミングで音取りをする。</p>
275	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再開時には鑑賞の授業からスタートした。 ・リズム創作、リズム打ち、指揮などの表現を入れ、指導計画を変更した。 ・毎年冬に行っていた箏の授業を夏に行う。その際、手指の消毒、箏の間隔など新型コロナウイルス感染症対応を徹底する。 ・歌唱の授業は体育館で行っている。体育館の壁側に立ち、生徒間を広く取り歌っている。合唱ではなく、共通教材で個の学びを主体としている。(しかし、4ヶ月間歌っていない生徒たちは、思うように声を出すことが出来ず、歌っているのに声が出ない戸惑いを感じた。こんなにも辛く悲しい授業は初めてでした。これから本来の声を取り戻していきます。コロナに負けない！と生徒と誓いました。)
276	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の授業時には、窓やドアを全開にし、換気扇を回して授業を実施している。
277	<p>当面、歌唱やリコーダーは行わず、ギターや鑑賞を中心に授業を進めています。</p>
278	<ul style="list-style-type: none"> ○1学期に実施予定の歌唱分野の学習と2学期に実施予定の「鑑賞分野」や「器楽分野」、「創作分野」の学習を入れ替えて実施する。 ○1時間の中で、歌唱時間が長くないよう努め、「鑑賞」「器楽(飛沫の恐れがないもの)」「楽曲分析」等、諸活動と組み合わせで実施する。 ○入退室の際は、必ず手指消毒を行う。また、授業後は教室内の消毒を行う。 ○窓を開け、常に換気した状態で実施する。 ○「鑑賞分野」「創作分野」の学習は音楽室、「歌唱分野」(特に合唱等、声を出す時間が長いもの)の学習は、体育館や多目的ルーム(広い教室)、屋外など、分野によって使用教室や場所を変えて指導する。 ○生徒の椅子の位置や、立ち位置については、2mの間隔を基本とし、互いに接近しないよう努める。 ○「声を出すこと」より「聴くこと」を重視し、生徒が音程やリズム、ハーモニー、曲想等「音楽の諸要素」について意識して感じ取れるような学習指導を行う。(大声を求めない)
279	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の際は窓を開け、喚起をし扇風機を回して実施する。 ・歌唱の際はマスクを着用する。 ・歌唱の際はできるだけ広がって実施する。 ・歌唱の際は1パートずつ練習する。 ・斉唱は最後の1回程度にする。 ・鑑賞やリズムを用いる授業を極力実施する。
280	
281	<ul style="list-style-type: none"> ・箏の授業では、2つある音楽室のうち、片方に箏を置き半分ずつ体験させた。一方の生徒は別の音楽室で待機させ、生徒が箏を弾いている状況の中継した。
282	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は間隔を広く取り行っている。 ・4、5月は鑑賞を中心に授業を行った。
283	<p>歌唱とリコーダーの学習はしばらく行わず、鑑賞教材を扱ったり、歌唱の授業再開に向け映画の場面を見せてよりよい歌唱活動について考えさせている。</p>
284	<ul style="list-style-type: none"> ・アップドラフト(タキ)空気清浄機を購入し、授業を行っている。(80畳まで可能) ・「打楽器のための小品」を演奏するため、打楽器を使用。 ・歌唱曲をハンドベル(ベース音も含む)で合奏し、和声感をつかむ。、
285	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず窓を開け、換気をする。 ・座席を音楽室いっぱい広げ、できるだけ間隔をとる。 ・自粛の時は、鑑賞の学習を先に行う。 ・新1年生の校歌の指導は、CDを聴いて覚え、マスク着用のまま小さい声で歌う。 ・自粛が解除になってからは、密をさけ、男女で2つにわかれ、お互いの距離をとるなど配慮して練習する。
286	<ul style="list-style-type: none"> ・常に音楽室の換気をしながら授業をする。 ・歌唱は、十分に間隔を取り、マスクをしたまま可能な範囲で実施する。 ・器楽(リコーダー)は、マスクをしたまま階名唱をしながら運指の確認をする。 実際に吹く場合は、十分に間隔を取り、短時間で実施する。 実施後は、うがい・手洗いの時間を取る。
287	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は窓を開けて、1mくらい距離をとり、マスクをして歌っている。 ・パート練習後、合唱終了後、交替でうがい、手洗いの時間を設けている。

288	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱教材は声に出して歌うことはせずに、リズム打ちや口の動きを確認する、音楽理論を中心に授業を進めている。 ・音楽教材はリコーダーを扱うが、音は出さずに運指の確認や、範奏を聴いて表現の方法を考えることを中心に授業を進める。 ・歌唱、器楽ともに、実技面は家庭学習にしているので、教科書会社のHPにアップされている音源がある事を伝えたり、学校のHPにリンクを貼ったりしている。 ・鑑賞教材では、意見交流の場面は設定するが、声に出さず、ワークシートを見せ合うことでお互いの考えを深められるようにしている。
289	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽(ギター)を使って、ペアになって弾く練習をしました。 ・いろいろな記号をプリントを使って学習し、小テストをしました。 ・校歌を、音楽室の窓やドアを開けて、マスクをして間隔を空けて座ったまま、小さい声で ローズむように歌う練習をしました。 ・リコーダーは、音楽室の窓やドアを開けて、間隔を空けて座ったまま、30分くらい吹く 練習をしました。忘れた生徒がいた場合は、学校に置いてあるリコーダーを使って、口は つかないで、指の練習だけをさせました。
290	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱曲も歌唱を行わず、作曲家や作詞者の思い、曲の背景、音楽記号などを学習して、歌の鑑賞を行った。 ・器楽演奏は、11月に行う予定だった和楽器：箏を演奏する学習を行った。楽器に触れる前にアルコール除菌を徹底させ、なるべく会話をせず、見て学ぶという形式で行った。音楽室が狭いので、生徒同士の間隔がとれるよう、特活室という教室の2倍以上ある教室で行った。 ・生徒の席は、教室と同じように横6列、縦6列にし、一人一人の席は離れた。隣同士かかわりあう活動は取りやめ、常に前を向いた状態で発表、発言をするようにさせた。
291	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中のマスク着用を行い、歌唱指導を行っている。 ・今年度から各学年1クラスずつになり生徒数は、31名～39名であるが、座席の間隔を取 ることもなく、平常通りに授業を行っている。 ・教育課程に配慮することなく、計画通りに進めている。
292	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の校歌は休業中にホームページから聴けるようにし、家庭学習として覚えられるようにした。 ・鑑賞を中心に当面の授業を行っている。 ・教室内の座席をできるだけ離し、リコーダーやギターの授業も少しずつ進めている。 ・マスクをつけて歌唱も少し行っている。
293	<ul style="list-style-type: none"> ・当面歌唱は行わず、鑑賞と器楽を中心に授業を進める。 ・手指消毒の徹底、楽器の消毒を行う。
294	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生の校歌指導はQRコードで音源を公開し、家庭でも練習できるようにした。 ・授業再開直後は鑑賞と創作を実施。 ・歌唱はハミングで音取り、音楽室全体に広がって、大声にならないよう注意しながら練習を行う。
295	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞や創作を中心とした授業を進めた。 今後合唱コンクールに向けてパート練習が始まるが、音楽室だけでなく別の部屋も使って、密にならないように練習する予定である。
296	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期初めは歌唱を行わず、鑑賞と器楽の授業を主に設定した。 ・1学年の校歌に関してはやらないわけにはいかないのCDで鑑賞し、頭の中で音取りをした。 ・歌唱授業の許可が出てからは窓と扉をすべて解放したうえで、マスク着用のまま歌唱した。 ・合唱のパート練習はパートごとに部屋を変えて密を避けるようにした。
297	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は当面行わず、鑑賞・器楽(和太鼓・ギター・箏)・創作を中心に、カリキュラムを変更して進めている。 ・創作では、パソコンでの楽譜作成ソフトを活用して、学習を進めている。 ・1年生の校歌指導は、上級生の音声を聴いて覚える。
298	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒間を広くとれるように、今まで使用していなかった空いているスペースも座席の配置に使用した ・当面、歌唱やリコーダーは行わず、鑑賞を中心にカリキュラムを組んだ
299	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士の距離を2メートル以上空けられるように、美術科とセットにして1クラスを半分の人数に分け、音楽室の机の数を減らしている。また、教師との距離も2メートル以上空けるようにする。 ・歌唱の際は、マスクを着用したままで行う。 ・鑑賞の授業など、比較的飛沫が飛ぶ活動の少ない内容のものから授業を行う。
300	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞・楽典・リズム打ちを行う。 ・歌唱については、教材を鑑賞し、曲の感じをつかむ。
301	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動は、音取り、表現の工夫等の学習も含め、ハミングを用いて実施している。マスクをして座ったままでのハミングという形をとっている。椅子は隣の列と並びをずらして配置。少しではあるが、距離がずれによりとれる。歌詞を用いた表現の学習にはならないが、楽曲を学ぶことはゼロではないので、進めている。
302	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を避けて、鑑賞活動を中心に行っている。 ・教科書準拠のワークを中心に簡単な楽典などを学習している。 ・中学1年生には、マスクをつけて間隔をとって「校歌」の練習をしている。その際、大きい声を出さなくてもよい。リズムやメロディー、歌詞を覚えるためと促している。
303	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞と創作を中心に授業を進める。 ・座席を普段よりも少し離して座らせる。 ・グループワークなどは極力避けて、意見交流をさせたいときは実物投影機で映して行わせる。 ・グループやペアワークをさせたいときは、時間を決めてフェイスシールドを着用させて行わせる。 ・器楽はボディパーカッションやギターでの実施を検討していく。
304	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は、合唱隊形を作らず、間隔を空けて机を配置し取り組ませる。 ・歌唱は、マスクを着用したまま、響きの大きさは重視することなく、音程や発音に気をつけて歌うように指導している。 ・毎時間の机上の消毒が難しいため、リコーダーの取り組みは延期し、リズム(ドラム)の学習に切り替えている。

305	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱教材はハミングを行う。 ・歌唱教材は手拍子をして歌唱をしない。 ・密にならないように、広い教室(多目的ホール)を
306	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒することができるキーボードを使用して創作活動を行っている。 ・音楽室が広いため、マスクをした上でいっぱいに広がって歌唱活動をしている。 ・現在は合唱はカリキュラムを入れ替えて、創作や鑑賞を中心に行っている。 ・休校中は家庭でも学習できるよう、教科書出版社等から配信されている動画を参考にしながら学習できるよう、ワークシートを準備した。
307	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽や創作を中心に授業を進める。 ・歌唱はハミングやマスクを着けたまま歌う。 ・範唱を聴いて歌い方の工夫を考える。 ・座席配置は一人一人の間隔をとり、人がいる方向に口が向かないようにする。 ・常時換気しておく。 ・椅子や譜面台など共用使用する物の消毒をする。
308	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室の座席は間隔をあけて座らせる。 ・歌唱の時はマスクをしたままで向かい合わせにならないように間隔を広く取って並ぶ。 ・アルトリコーダーの演奏時は各自が机にタオルまたはハンカチを敷く。 ・窓を開け扇風機を回して換気をしている。
309	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく鑑賞や器楽を中心に授業を進めるが、歌唱をするときは、マスクを着用し、間隔をとって行うようにしている。
310	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、鑑賞、創作、器楽(打楽器やギター等)を中心に授業を進める。 ・歌唱は体育館や屋外などの換気の良い場所で、十分な間隔あけて行う。 ・新1年生の校歌の指導は、音源を毎授業時に聞かせ覚えてもらう。
311	<p>【実践中】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と創作の授業を中心に授業展開を行うようにしている。 ・歌唱の授業では、ハミングの音取りを中心として行い、歌詞をつけての歌唱は控える。 <p>【実践予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの頭部管から下にタオルを巻き、飛沫が飛ばないように工夫する。
312	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞、器楽(箏やリズムアンサンブル)を中心に授業を進める。 ・歌唱については、教育芸術社の自宅学習支援コンテンツのサイトを紹介し、聴いて自宅で練習できるようにした。
313	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの大幅な見直しを行い、鑑賞領域から授業をスタートさせた。 ・1年生の校歌指導は楽譜を見ながらCDを聴いたり、軽く口ずさんだりする程度に行った。 ・合唱は席の間隔を十分に取り、短時間で。パート練習は廊下や隣の空き教室なども使用し、密にならない環境で実施している。
314	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が親しみを持つことができる曲からハミングを行い、慣れてきたら教科書の題材を用いる。 ・手拍子でのリズムアンサンブルに取り組む。 ・打楽器でのリズムアンサンブルに取り組む。(楽器は消毒しながら行う)
315	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の扱いを、篠笛から箏に変更した。 ・年間指導計画を変更し、歌唱指導を現在は行っていない。 ・歌唱指導を行う際は、廊下等も使用しながら、空いている窓の前で歌う等の工夫を行う予定である。
316	<ul style="list-style-type: none"> ・3密の状態を防ぐことができるよう、鑑賞を中心としたカリキュラムの組み直し。(一学期) ・歌唱はマスクをしたまま、音量は抑えめで行う。
317	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の授業では、校内の一番広い教室で、前後左右最大限に距離をとり、換気を十分にを行い、マスク着用を原則としながら行っている。 ・歌唱の授業では、全体で音源を聴き、その日の課題を確認した後に、パートごとに別の教室に分かれ、パート練習を行っている。その際に、一人一人が立つ場所にマーキングをしたり、椅子を置いたりして、十分に間隔をとることができるようにしている。(マーキングがないと、無意識のうちに近付いてしまう傾向がある。) ・器楽の授業では、リコーダーによる授業を行っているが、管楽器の飛沫の実験結果を参考にしながら、距離を十分に保って活動できるようにしている。また、実際にリコーダーを吹く時間と、楽譜を見ながら表現の工夫について考えたり話し合ったりする時間を分け、一定時間リコーダーを吹いた後には、一度手洗い、消毒を行ったうえで、学習カードに記入したり、話し合ったりする時間を設けるようにしている。手洗い・消毒の時間も分けることによって、個別に指導ができたし、密を避けたりすることができるようにしている。 ・鑑賞の授業では、全体での学習場面を多くして、通常時のようなグループ活動を減らしている。 ・鑑賞の授業では、実際にはまだ行っていないが、今後状況が悪化したことなどを想定して、オンラインでの授業が実施できるように準備を進めている。
318	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌の指導では教員が演奏したものを録音して、授業で活用する他、行事でも使用している。 ・教室のレイアウトをできるだけ密にならないように半円型にし、歌唱指導では換気に気をつけてマスクを付けて座ったままハミングや軽く口ずさむ程度にしている。今後はハーモニー練習としてハンドサインを取り入れ、教員の発声による指示を少なくし、個々の音程や音の重なりなどを体感できるよう工夫していく予定。 ・初めの授業でオリエンテーションを行い、コロナ対策や生徒へのお願いを明記し、授業の内容や評価についてしっかり説明する。 ・リズム打ちや創作活動や和太鼓の演奏などで表現活動を行っている。パチを多めに用意して、共有する場合は消毒している。 ・学校再開後は鑑賞の授業や郷土や世界の音楽などの調べ学習などを先に行った。 ・1学期の評定が全観点出せるよう、表現と鑑賞をまんべんなく行うように考慮している。
319	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の全体練習は体育館で間隔を取って行う。 ・合唱のパート練習は、音楽室他2教室を使って行う。

320	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は窓の方に向いて、密にならないよう間隔を開けて行う。外や空き教室で発声練習を実施することもある。 ・鑑賞を多く取り入れて、DVDでわかりやすく興味をもたせる授業に取り組んでいる。 ・歌唱だけに頼らず、楽典を楽しく学習する工夫を取り入れる。例えば、表現記号がない楽譜を渡し、模範演奏を聴かせたあと、自分なりの表現方法を楽譜に書き込ませる、読譜の練習に簡単な旋律の聴音を取り入れるなど。 ・3年生にとっては音楽会等の中止で、思い出に残る演奏ができないため、リモートでの演奏ができないか検討中である。
321	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は行わず、鑑賞とリズム学習を中心に計画した。 ・リコーダーは教育芸術社の支援サイトで家庭での学習として取り組んでいる。
322	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞や創作などを主にカリキュラムを組んでいる。
323	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生の校歌の指導は、臨時休校中に楽譜配布や、動画により家庭学習で覚えてもらう。 ・歌唱については音楽室で密にならないように配置し実践する。 ・マスクは必ず付ける。 ・できるだけ歌わず、鑑賞の授業を中心に授業を進める。 ・班活動は行わない。
324	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館で生徒同士十分な間隔をとって授業を行う。 ・「3密」を避け、歌唱・リコーダーを実施。換気を徹底し、グループ、ペア学習は行わない。歌唱指導はマスクを着用させた。 ・歌唱指導は行わず、鑑賞やギターやリズム楽器を中心に授業を行った。
325	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞とギターや和楽器を中心としたカリキュラムを組む。 ・新1年生の校歌の指導は、上級生の範唱を聴きながら、マスク越しにささやく程度で覚えてもらう。
326	<ul style="list-style-type: none"> ・席を密にならない様に、配置し、自席で行う。 ・どのように歌うかワークシートに記入する。
327	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点では、各学年とも鑑賞しか実施しておりません。 ・今後は短時間でのアルトリコーダーの実施や、同じく短時間で換気を十分に気を付けながら外を向いての歌唱実技を少しずつ実施したいと考えております。
328	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は、常に窓を開け換気した状態で行う。 ・女声、男声に分かれて密にならないようにパート練習を行っている。 ・机の位置を交互にし、前の人と1メートル以上距離をとる。 ・対策を生徒自身で考えさせ、意識をもたせる。 ・数分早く授業を終わり、授業後の手洗いうがいを確実にさせる。
329	<ul style="list-style-type: none"> ・机の間を離し、密にならないように配慮し、換気を行う。 ・年度内の計画で鑑賞の授業を1学期に行うようにする。 ・歌唱やリコーダーの指導の際に発声や演奏を控え、CDやDVDを活用し補うようにする。
330	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞や創作を中心に授業を進めていく。 ・また、器楽の活動においては、生徒一人につき一つの打楽器を準備し、授業終わりには消毒作業を行う。 ・今後は体育館で密にならないよう配置し歌唱を少しずつ実施する予定である。
331	<p><歌唱活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の窓は全開にして換気を常に行う。 ・音取りの段階では、椅子に座ったまま、全員一方方向を向いて、マスクをつけたまま、ハミングや小さな声で歌わせる。 ・歌唱の仕上げ段階では、男女別で、前後左右1m間隔を空けて窓に向かって横3列隊形をそれぞれ作り、一番前に列の生徒はマスクを外して歌う。適宜前列を入れ替えながら、マスクを作って歌わせる。 <p><アルトリコーダー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーは授業の終わり10分～15分 ・つば抜き用のハンカチ(手洗いの時のものとは別)、つば抜きをした後のハンカチを入れるビニール袋を毎時間持参させ、持ち帰って洗濯させる。(ビニール袋の口は強く縛る) ・練習中は、つば抜き用のハンカチを膝の上や机の上に広げて、つばを受け止める。 ・リコーダーの活動後は必ず石鹸で手洗いをさせる。 <p><カリキュラム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生は、アルトリコーダーの活動はせず、ギター等の授業に切り替える。 ・2年生は、リコーダーの授業の時期を後期にずらすとともに、前期に筆の授業を1年時に引き続いて行い、発展的は内容に取り組みさせる。 ・1年生は、例年よりも取り扱う曲数をしぼる。また、学習する運指もド～ソまでとし、それ以外は2年時以降に学習するよう長期的な視点でカリキュラム編成をする。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の工夫や対策については、同一学区の小学校の音楽専科の先生とも連携をとり、情報を共有、対策を徹底することで、生徒や保護者の理解と協力が得られるように配慮している。
332	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画を変更し、前半に鑑賞や創作活動を中心としたカリキュラムを組んだ。 ・新1年生への校歌指導はCD・DVDを配付し、家庭で覚えてもらった。 ・歌唱活動は十分な距離(2m以上)を保てる体育館等で行い、全員がフェイスシールドを使用する。(7月第3週目から実施予定) ・ピアノの周りに集まっただけの音取りは行わず、指定された場所で発声する。 ・使用する部屋の換気を十分に行い、使用後は机・椅子等の消毒を行う。
333	<ul style="list-style-type: none"> ・当面は、歌唱指導は行わず、鑑賞と器楽(打楽器・弦楽器)を中心に授業を進める。 ・グループ活動では、生徒同士が密にならないように机等はくっつけず活動する。 ・楽器を使うときは授業の初めと終わりに、手をアルコール消毒している。 ・歌唱指導を行う場合は、生徒同士の間隔をあげ、換気をし、密にならないように配慮する。
334	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動はできるだけ広く間隔をとって、マスク着用で行っている。範唱CDを流しながら、ボリュウムアップし、安心して歌える環境を作っている。

335	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱・リコーダーを行わず打楽器や弦楽器を中心に実技のカリキュラムを組む。 ・実技で用いた楽器と絡めて鑑賞授業を行い、学習を深めるようにする。
336	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の授業を年間指導計画通りではなく先行して行う。 ・ただの鑑賞では音楽の良さについて表現して意見交換できないので、曲紹介のポップを作って全校の見えるところに掲示している。 ・歌唱の教材を鑑賞の教材のように扱い、どのような声色で歌ったらいいかを考えたり、楽譜の研究(楽曲分析)を丁寧に行い、歌唱指導が可能になった時にすぐ対応できるように備えている。 ・自分の好きな曲を集め、セットリストを作ってコンセプトを記入し、講演を作る。(POPSの活用。インターネットを使つての情報収集の演習。)
337	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室は机を使わずイスのみを使用し、生徒間の距離を十分確保して授業を進めている。 ・新1年生の校歌の指導は、範唱を聴くことのみで生徒たちは一切声に出さない。 ・当面、歌唱は行わず、創作と鑑賞を中心にカリキュラムを組んでいる。 ・和楽器の学習においては楽器数にも限りがあり、蜜は避けられないため当面の間行わない。 <p>行う場合、各教室(特別教室含む)に設置されたアルコール消毒液において入室前、退室する際に手の消毒をこれまで通り徹底する。楽器の消毒も楽器を痛めず消毒するマテリアルも出ているので使用する。練習中も蜜にならないよう配慮する。</p>
338	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室が狭いので、多目的室という広い部屋で、可能な限り一人一人の間隔を開け、マスク着用で授業をしています。 ・当面は、鑑賞・創作・リズムアンサンブル(ボディーパーカッション)でカリキュラムを組んで実施してきました。 ・ボディーパーカッションをする場合は、いくつかのグループに分かれて、音楽室と多目的室に分かれて、さらに間隔をとって練習をしました。 ・新入生の校歌指導は、教員が歌った動画を視聴しながら、マスク着用のままハミングやささやくような声で1時間実施しました。 ・この先も同じ状況が続くようであれば、日本の歌をマスク着用でハミングやささやくような声で歌い、曲の特徴を理解する授業や器楽(ギター、1人1本)の授業を実施しようと考えています。
339	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、リコーダーの授業は行っていません。 ・歌唱の授業は表現を考えること、リズムをたたくなどをして行っている。 ・7月までは鑑賞の授業を中心に行う予定である。
340	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室入室の前後によく手洗いをするよう指導している。 ・合唱練習は、第1音楽室・第2音楽室・廊下に各パートを分散して少人数で行っている。 ・全室窓を開放し、マスク着用の上、ソーシャルディスタンス及び対面にならないよう机や椅子の配置を工夫して歌っている。 ・オーディオ類はパートリーダーのみが操作し、使用前後の除菌を行っている。 ・ピアノは除菌した上で伴奏者のみが使用する。 ・冷房をかけ、マスクを外す休憩時間を設け、熱中症対策を行っている。 ・現在は歌唱の授業を主に、鑑賞を織り交ぜながら活動している。 ・休校中は、全生徒に歌唱練習用CDを配付した。
341	<ul style="list-style-type: none"> ・年間教育計画とつきたい力、資質・能力を見直し、新たなカリキュラムデザインを作成する。 ・当初は鑑賞、吹奏楽器以外の器楽の学習を優先。 ・歌唱指導の活動の工夫。 <ul style="list-style-type: none"> 「声を出さず、手拍子やリズム打ち、ハミング等で曲想を感じ取る」 「歌詞の心情や情景、諸要素を生かした歌い方を学ぶためのワークシートの工夫」 「ICT機器や思考ツールを有効活用し、大きな声を出さないグループ協議の実施」 「マスクを着用し、生徒間の距離をとった活動実践」 ・状況により、音楽室や机、椅子、道具類のこまめな消毒の実施。
342	<ul style="list-style-type: none"> ・4月は鑑賞を中心にした授業で、できるだけ大きな声は出さないことを心がけた。 ・全員マスク着用で行う。 ・歌唱を伴う授業では、できるだけ密を避けながら広がって歌う。 ・パート練習も、円をえがき全員外側を向いて練習などの対策を取りました。
343	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用の上で、自席で歌唱。 ・二、三年生は器楽(ギター)を中心に学習を進めている。 ・ワークなどを用いて座学的学習を多く行っている
344	<p>鑑賞を中心に行う。一人ひとりにタブレット端末から曲を聴き、曲紹介を交流する。席は固定、移動は無い</p> <p>器楽の筆を始めた。楽器は固定、演奏前に消毒、マスク待っている間は私語をしないようにして練習に取り組んでいる。</p> <p>音楽室に入る前には、手洗い、手指の消毒。音楽室の換気も窓と扉を全て明け、扇風機を回した状態にしている。</p> <p>歌唱の学習はまだ取り組んでいない。</p>
345	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の際は、なるべく生徒間の距離を取らせて状態で行っている。 ・マスクのまま歌唱を続けると酸欠等の体調不良者が出てしまう為、1度歌唱をすると歌唱以外の活動を挟んでいる。 ・マスクで歌唱の場合息が苦しくなってしまう為、鼻だけは出して空気を吸えるようにしている。 ・歌唱を予定していた単元を鑑賞に変更した。
346	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生への校歌指導については、最初の時間に昨年度の市の合同音楽会の映像を視聴。 また、生徒会放送委員会と連携し、毎日の昼の放送で校歌を流した。 ・体育館へ移動し、体育館いっばいに広がってリコーダーの練習。(直線、同じ向き) ・音楽室も比較的広いので、前後2m離れた状態で、マスクをしたまま少しづつ歌い始めている。(直線、同じ向き) ・第1音楽室・調理室(第1音楽室の隣)・第2音楽室の3か所に分散し、一定方向を向いてのパート練習を予定している。
347	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の授業はマスクをつけたまま歌う時間を短くして実施したり、教室を分けて間隔をとってパート練習をしたりした。

348	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は密にならないよう、分散してパート練習を行い、体育館など広い場所で合唱している。 ・リコーダーは膝の上にタオルを敷き、密にならないよう間隔を空け、一定方向を向き演奏している。練習後は、毎回リコーダーを洗っている。
349	年間指導計画を組み替え、当面の間歌唱は行わず、鑑賞を中心とした授業を実施する。
350	<p>鑑賞と和太鼓を中心に取り組む。歌唱やリコーダーは実技の部分に範唱・範奏CDを鑑賞する時間を多くとる。その際歌詞や階名で声を出さずに歌う。声を出して歌うときは生徒一人の学年は教室の真ん中に、二人の学年は2～3メートル離して机を置き教師とも2～3メートル離れマスクをして歌う。リコーダーは背中向きで吹く。</p> <p>* 少人数の学校なので教室内で密にならないように工夫している。</p>
351	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室入り口前に消毒設置 ・歌唱は校歌をマスク着用のまま、控えめにハミングのみ実施 ・鑑賞やリズム創作、管楽器以外の器楽を中心に授業を行っている ・リコーダーはヘッドピースを使わず運指のみを音楽室で練習している。 <p>晴天時、校地内(屋外)で横1列に並び、同一方向に向かってのみ、リコーダーの音出し演奏を実施している。</p>
352	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の時間を極力短くし、マスクをして歌っている。 ・パート練習は廊下も使って、密にならないように配慮している。 ・エアコンはつけているが、窓も全開にあげて常に換気をしている。 ・座席の配置を工夫し、ソーシャルディスタンスをできるだけ守るようにしている。
353	<ul style="list-style-type: none"> ・座席の間隔を以前よりも広くした。 ・マスクをしたまま歌唱する。 ・グループ活動を極力減らした。
354	<p>歌唱、器楽はまだ行っていません。鑑賞中心に進めています。</p> <p>ボディパーカッションを取り入れて生徒も意欲的に臨むことができました。歌唱は少しずつ始めようかと思いましたが、最近、近くの市町村でコロナ感染者が確認されたので、どのようにしていくといいのか考えているところです。</p>
355	・当面の間、鑑賞と箏を中心にカリキュラムを組む。
356	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時休校明けは、教室よりも広い音楽室で生徒の席を離して鑑賞を行った。 ・歌唱は、体育館で前後左右の間隔を大きく取りながら行った。体育館の広さをいかし、声を遠くに飛ばす・響かせるイメージを持たせる活動を行ったり、地声と歌声の響き方の違いを感じる活動を行ったり、生徒を2グループに分けて体育館の反対側に配置してお互いの声を聴きあう活動を行ったりした。
357	当面、歌唱は行わず、和楽器、鑑賞、創作を中心にカリキュラムを組む。
358	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室内の机の間隔を広くした。 ・鑑賞や器楽(ギター)を中心に授業を行った。 ・基本的に授業では常にマスクを着けさせるが、歌唱時も必ず着けさせる。
359	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は十分な距離をとり、マスクを着用したうえで、向かい合わない形で無理のない範囲で歌うこととする。 ・歌唱はハミングを中心に行っている。
360	<ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダーは教師がフェイスシールド、透明のビニールシートを用意し、見本演奏はしている。指使いやリズム、階名唱のみ行う。 ・音が出せないのに、鑑賞の授業が多い。
361	<p>(歌唱)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口を開けずに「uー」等のハミングで旋律を覚える。 ・合唱隊形ではなく、机列のままで前後左右が2メートルの間隔になるようにして、一人おきに起立してマスクを着用して歌唱する。 ・天気の良い日には、外で2メートルの間隔を空けて歌唱する。(屋外ではマスクなし) ・歌唱の技能テストでは、音楽準備室などの別室にて行う。2メートル以上教師と生徒の間隔をとり、一人ずつ実施する。 ・輪になり、外向きになって歌唱する。 <p>(器楽)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムうちを手拍子、クラベス等の打楽器で行う。 ・アルトリコーダーでは、旋律に合わせて運指のみで行う。 <p>(音楽づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手拍子や打楽器を使用して、リズムづくりの題材から行うように指導計画を変更して実施する。 ・クラベス、トライアングル、タンブリンを使用する際には、軍手を各自持参して、軍手を着用して演奏する。 ・一人一台の簡易鍵盤楽器を使用して旋律づくりをする。
362	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱とリコーダー練習は、広い体育館や武道館を使用し、生徒同士が密にならないように間隔を広く取り、窓や扉を全開にして換気にも留意しながら行った。 ・校歌の練習は、休校中に練習用音源をHP(ホームページ)にアップし、家庭学習とした。

363	<ul style="list-style-type: none"> ・授業再開当初の数時間は鑑賞を行い、様子を見た。 ・各種ガイドラインに従った上で、歌唱の授業を行っている。 ・常にマスクを着用させている。 ・常時、音楽室の扉や窓を開け放ち、扇風機を回すなどして、最大限の換気を行いながら授業している。 ・エアコンを使用する際は、必ず扉と窓の一部を開き、扇風機も併用して、室内の空気が滞らないようにしている。 ・歌唱の授業では、各パートを一行に並べ同じ方向を向かせている。輪になるなど飛沫がかかる恐れのある並び方はさせていない。 ・歌う際は、必ず窓側(屋外)を向くよう指示している。 ・手洗い、うがいを励行している。特に音楽の授業前後は必ず。 ・授業中の対話や交流に制限がある。そのため、書いたプリントを机上に置き、移動しながら、互いに見合う(ギャラリーウォーク)などして交流を図っている。
364	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室は机とイスが無くて密や対面になりやすいため、机とイスのある教室に移動して行っている。 * 歌唱の代わりに、ハンドクラッピングの合奏活動を取り入れ、表現の技能を身に付ける学習をしている。同時に、読譜や記譜の学習を行っている。 * 2、3学期に行う予定の鑑賞の授業を前倒してまとめて行う予定。
365	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱の学習は、十分に距離を保って歌っています。歌唱の時のみマスクを外す指示をし、歌わないときはマスクをつけることを心がけて指示しています。 ・リコーダーの学習は、唾などが相手にかからないよう、距離をおいて練習させています。グループで演奏活動は感染拡大防止のためしていません。 ・エアコンが入っている環境でも歌唱や器楽の学習中では換気はしたままです。 ・授業前・後は、消毒スプレーを手のひらにかけています。
366	<p>○常時窓を開け、子どもたちが座る位置を十分に保ち、前後2m横1m50cm以上離れた場所で、全員が前を向いた状態で授業を行っている。</p> <p>【歌唱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクをした状態で、連続的に唱歌する時間を2分以内で実施。 ・パート練習やグループ活動は行わない。 ・作詞・作曲者の心情や曲の構成を考える授業を主に行っている。また、動画やDVD等を活用し、歌っている表情や声の音色を鑑賞して学習を行った。 <p>【器楽】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスクを外し、15分程度実施。 ・演奏中、演奏後の私語はせず、リコーダーの演奏活動を実施。演奏後、マウスピースの洗浄を行った。 ・ペア学習を行わず、自己評価による振り返りを中心に行っている。 ・実技試験において、別部屋で一人ずつ2m以上距離を保って行った。
367	<ul style="list-style-type: none"> ・広島県はレベル1の段階なので、歌唱・リコーダー等も感染防止につとめながら行っている。(授業前の手洗い、消毒、換気) ・現在1年生は、換気をした状態でリコーダーを中心に活動している。歌唱は、校歌のみをマスクありで歌っている。 ・2、3年生はギターが40本あるため、ギターを行っている。ギターの消毒は、使った日の放課後に行っている。 ・時間の確保のために、ipadを使用して生徒が自分で録画をし、ギターのテストを行った。 ・全学年授業の導入で、教芸のリズムゲームを使用して、手を叩く活動を多くしている。そして、創作につなげていきたいと思っている。 ・カシオのミニキーボードが20台あるので、2学期は創作に力をいれたいと考えている。 また、ipadのgarage bandを上手く使用できないか模索している。 ・今まで出来なかった楽譜の書き方・音楽理論について教え、歌唱も制限なく出来るようになった時に表現の活動がもっと充実するようにしたい。
368	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生の校歌の指導は、座席についたまま範唱を聴き、小声で口ずさむ。 ・1学期間は歌唱指導を行わず、鑑賞と創作を中心に授業を進める。
369	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画の学習内容順を変更した。鑑賞・器楽活動を先に学習している。 ・生徒同士の間隔を1メートルとすることで、音楽室での学習ができるよう環境づくりを行った。音楽室の出入り口、椅子等は常に消毒を行っている。
370	<ul style="list-style-type: none"> ・当面は合唱や歌唱練習は行わず鑑賞授業や楽典などの学習を行う ・1年生の校歌は歌詞の作者や詞の内容などを学習し、歌詞を覚えられるよう筆記テストをする ・歌唱時は学級の人数を分けて、歌唱するグループと座学をするグループに分けたり、歌唱の際は屋外に出て極力少ない回数でマスクを着用したまま非対面で歌唱を行う。 ・教員はフェイスシールドをつけて歌唱指導を行う。 ・合唱練習を行う際には第一音楽室、第二音楽室に分散して密にならないように行う
371	<p>少人数の学校のため、一人ひとりの間隔が多とれるので歌唱は自席でマスク着用して行っている。</p> <p>リコーダー演奏も自席で前向きのみ、当初ビニール袋を活用し、マウスピース辺りで輪ゴムにてとめ、ウインドウのところから下に袋をかぶした状態。後ろはスリットを入れ前に息の流れを流さないよう工夫していたが、先月リコーダー製作をしているところの研究により、飛沫はリコーダーでは飛ばないことと研究発表がでたこともあり、窓の換気や空気の流れも十分考えた上で7月より、袋もとって演奏をしている。</p> <p>換気を十分にし、対面を生徒間でしないよう間隔もあけ、隣の人と向き合ったりの動作をせずの授業をしています。</p>

372	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の歌唱(基本的な発声指導と校歌のみ)は、外に電子ピアノを持ち出して実施。その際のみマスクを外すことを許可。他の時間の校歌練習はマスク着用のままハミング練習のみ。 ・2,3年生は1学期の間は歌唱は実施しない。 ・全学年、リコーダーは1学期の間は使用しない。 ・1学期は鑑賞と記譜指導(できれば創作まで)の実施とする。 ・10月下旬に予定の校内合唱発表会は中止。(広い劇場を予定していたため当日の換気は問題ないと思われるが、9～10月の教室等での練習環境の安全性が担保できない) ・2学期後半(11～12月)に、状況が許せば授業として合唱を扱い、動画を学校YouTubeにアップの後、動画審査で合唱コンクールを実施する予定。(授業としての実施のため、課題曲1曲のみ、審査は音楽科教員のみ)
373	<ul style="list-style-type: none"> ・パートの音程を覚えるための練習場面では、男女で練習場所を分けている。また、タブレットと小型のスピーカーを数台用意し、3～4人の少人数グループで距離をとって練習させている。
374	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱、リコーダー奏は行わず、鑑賞と楽典を中心に授業を進める。 ・リコーダー奏はせず、運指の練習のみ行う。 ・歌唱曲はCDを聴き、単元のワーク記入を中心に行う。 ・歌唱やリコーダー奏については、少人数校につき、今後は密にならないよう横一列に並ぶよう配置し、実施する。
375	<ul style="list-style-type: none"> ・当面歌唱は行わず、鑑賞と指揮法とクラッピング(手拍子)にて技能の評価を行っている。 ・新1年生の校歌の指導は、ホームページにて音源を配信し、家庭学習で覚えてもらうとともに、指揮法にて校歌を使用している。 ・指揮法の授業を行い、生徒の思考力・表現力・判断力が身に付くよう、曲に込められた思いや音楽的な要素が与える効果を指導しながら、指揮の技能も身に付くように行っている。
376	<ul style="list-style-type: none"> ・7月6日現在、歌唱は取り組んでいない。 ・授業の導入時に、校歌をハミング唱している。 ・8月上旬までが前期であるが、そこまでは鑑賞と創作(楽典含む)を行う予定である。 ・室内教科においてマスク着用が任意のレベルまで改善し、給食時に会話をしながらの会食が可能になるタイミングで、歌唱やアルトリコーダーを用いた器楽の授業を行う予定である。
377	<ul style="list-style-type: none"> ・窓を開けて換気扇を回して、教室内の換気を常に行う。 ・机を出来るだけ離す。 ・使用後の机・椅子の消毒を毎日行う。 ・グループ活動は行わない。 ・マスクを常用する。 ・歌唱の時間は必要最低限とし、出来るだけ放射状方向に向いて歌う。 ・この機に鑑賞やリズム指導の教材研究を行い、授業がマンネリ化しないようにする。
378	<ul style="list-style-type: none"> ・打弦楽器を用いた器楽、創作活動を行い、リコーダーを取り扱わない。 ・鑑賞の映像視聴では複数箇所のモニターを配置し、密集を避ける。 ・新入生の校歌や応援歌指導は朝の校内放送などを活用し、聴取する機会を増やし、授業で長時間歌わないように配慮する。 ・合唱練習では他のパートCDに合わせて合唱する活動を行い、全体合唱の回数や時間を増やさないよう調整する。
379	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽分野において、手拍子を使ったリズム練習およびアンサンブルを取り入れた。
380	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は十分な換気をした部屋で、一人ひとりの間隔をとり、マスクをして同じ方向に向いて歌わせる。 ・机を向い合わずグループ活動は極力控え、ペア学習や向い合わないグループ活動を取り入れる。 ・リコーダーの演奏は十分な空間が確保できないため、当面見合わせる。代わりにギターなどの演奏を取り入れる。
381	<ul style="list-style-type: none"> ・座席の間隔を広くとり、密を避ける。 ・現在まで、歌唱とアルトリコーダーは実施せず、鑑賞やリズムアンサンブル、楽典、聴音の内容で授業を実施している。 ・ギター等の器楽演奏も、楽器の本数が少なく消毒が難しいため、実施していない。 ・1年生の校歌の指導は、CDを鑑賞し歌詞を覚える程度の目標で行っている。 ・マスクを着用したままのハミングや、ハンドサインでの音程の確認やハーモニーのトレーニングを行っている。
382	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムを組みかえ、鑑賞、創作の授業から進めている。 ・歌唱の授業は、体育館や柔剣道場などの広い場所で換気をよくし、生徒の前に人がいない状態でやっている。(2列に並んで、背中合わせになって歌う。円をつくって、背中合わせになって歌う。L字型で、人が向かい合わないようにして歌う。) ・パート練習は行わず、全体を進める。
383	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽室の使用について ・音楽室内では、生徒同士では1メートル以上の間隔を開け、指導者とは2メートル以上の間隔を開けている。 ・南北の窓を開け放ち、扇風機を常時廻している。エアコンを使用するようになってからも同様の措置をとっている。 ・全校生徒が使用するので、入室の際は手洗い・アルコール消毒・うがいを推奨している。 ○歌唱指導 ・着座、マスク使用のまま歌う。声の大きさは自分が歌っていることがわかる程度の声量で歌うように指示している。短時間で行う。 ○リコーダー指導 ・マスクをはずす。柔らかいタンギングで大きな音で吹かないように指導。全員前を向いて吹く。 ・指導者は透明シート(衝立)の後ろで見本演奏をする。対面指導はしない。短時間で行う。練習がすめば、マスクを着用する。 ○ギターや箏を指導した後は石鹸で手洗いを励行。 ○鑑賞指導の充実を例年以上に図っている。
384	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室で、座席の間隔を広めに取り、マスクを付けて歌唱をする。 ・カリキュラムを組み替え、鑑賞を先にして、歌唱指導を後に回す。

385	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱のパート練習は、男声第1音楽室、ソプラノが第2音楽室、アルトが準備室で、密にならないように広がり、マスクをして行う。 ・学級全員でマスクを外して合唱をする時は、多目的ホールに移動して、各自の間隔を前後2m、左右1m半程度あけて、向かい合わせにならないようにし、窓を開け放ち、短時間でやっている。
386	<ul style="list-style-type: none"> ・当面は、鑑賞や器楽(ハンドベル・ギター・和楽器)を中心に授業を進める。 ・地域や校内の状況を見て、管理職と相談した上で、体育館や廊下等で、換気をしながら広がって、密にならないよう配置し、歌唱を実施する。
387	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱練習は、マスクをした状態で、密にならないように、体育館や広い多目的ホールを使用したり、音楽室、廊下、音楽準備室にわかれてパート練習をしたりする。
388	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱や器楽は行わず、「音楽づくり」「鑑賞」を中心に授業を進めている。 ・この機会に基本事項を楽しく定着させるために、授業の導入で、音楽記号クイズを行ったり、ミニプリントを行ったりしている。 ・歌ったり、楽器の演奏を行ったりしなくても、音楽の楽しさを感じてもらえるように、授業の導入で、作曲家当てクイズや楽器の名前当てクイズなどを行うなどの工夫をしている。
389	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体育館で、密にならないような配置でアルトリコーダーの活動を行う。 2. 教室で吹く場合は1列ごと、または奇数列・偶数列に分かれて音をだす。(吹いていない生徒は、リズム唱や階名唱を行う。) 3. 様々な楽曲を鑑賞させ、ポイントを決めて、思ったことや感じたことを記述したり、2～3人で意見交換を行う。 4. リズムボックスを使用し、リズム遊びを行う。(手、足を使用。言葉も加える。) 5. 視唱練習や合唱練習も2. に準ずる。
390	<p>歌唱は、音楽室の壁際に間隔をとって並ばせ、マスクをしたまま行っている。</p> <p>合唱の練習は、第1音楽室に女声、図書室に男声、というふうに分かれて、密にならないよう配置し、パート練習をしている。</p> <p>器楽(リコーダー)は飛沫感染予防のため、一学期は実施せず、10月以降に実施予定。</p>
391	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大が迫っている時期には歌唱や器楽を避け、カリキュラムの順番を変えて鑑賞の授業を優先的に行う。 ・器楽のリコーダーの授業の際は、音楽室のスペースをできるだけ広く使い、机の間隔を空けて行う。 ・歌唱の授業の際は、音楽室の換気を十分に行い、少人数のパート練習を中心とし、できるだけ歌う人との間隔を空けて行う。
392	<ul style="list-style-type: none"> ・新1年生の校歌や生徒会歌の指導について、生徒は教師の範唱(自作のフェイスシールド付)を聴き、校歌や生徒会歌の曲想を感じ取る鑑賞の授業とした。 ・6月中は3学年とも鑑賞の授業を行った。 ・7月初旬は3学年とも創作の授業を行い、リズムをつくって手でたたく活動を行っている。 ・7月下旬からは、音を出さない器楽(リコーダー)の授業を予定しており、運指の指導を行うつもりである。 ・どの授業もグループ・ペア活動は取り入れず、個人思考を中心としている。 ・知的学級の授業では、生徒数が2～3人のため、音楽室で2m以上離れてリコーダーに取り組みさせている。ただし、活動前後の手洗いと、机回りの消毒作業は行っている。
393	<ul style="list-style-type: none"> ・当面、歌唱は行わず、鑑賞と器楽(和太鼓・ギター)を中心にカリキュラムを組む。 ・合唱の練習は、文化祭前を中心に行い、広く風通しのよい室内で2メートル以上の間隔をとって行う。
394	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱はメロディをハミングで行う。 ・器楽(ギターとキーボード)を中心に表現学習を進める。 ・ボディパーカッションなど、リズムを中心とした表現学習を進める。 ・新1年生の校歌の指導は、範唱を動画配信し、家庭学習でも覚えてもらう。
395	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室の机を、授業が終わる度にアルコール除菌している。 ・音楽室の机の間隔を広く取り、授業中も常に換気している。 ・水筒を持っていくことを許可し、授業中も自由に水分補給してよいと指示している。 ・鑑賞やプリント学習など、歌唱を伴わない活動をできるだけ増やしている。
396	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動では、マスクとフェイスシールドを用いて、密にならないように実施する。 ・授業中、生徒がプリント等書いた意見を撮影し、すぐにグレーボード(黒板)やスクリーンに映すことで、生徒同士が顔を見合わなくても仲間の意見を知ることができる環境をつくる。 ・創作活動では、鍵盤ハーモニカやリコーダーで音を出せない代わりに、生徒一人一人が所有しているipad内にあるアプリ「GarageBand」を使って、音を出して試しながら創作できるようにする。 ・休校中のipad(zoom)を活用した遠隔授業では、音源を特定のホームページ上にアップロードし、そのサイトのURLを配信することで、生徒が各家庭にいても音質のよい音源を聴いて学習に取り組めるようにした。
397	<ul style="list-style-type: none"> ・教室の換気を十分に行い、生徒同士距離をとれるよう、間隔を開けるなど座席配置を工夫した。 ・使用した机やイス、楽器は一日の終わりに消毒をする。 ・6月は鑑賞、リズムうち、創作など、飛沫の飛ばない活動を中心とした授業を行った。 ・歌唱の授業は6月は実施せず、7月より教室の換気を十分に行い、生徒同士距離をとってマスクをつけながら実施している。
398	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を先に取り組みむなど、カリキュラムを変更している。 ・各学年の心の歌を聴いたり、リズム活動を取り入れたりなど、工夫している。 ・歌唱は、特別教室(美術室)も活用し、2つの教室に分かれて、密にならないように、また換気に配慮している。 ・合唱プロジェクト『がんばれ がんばれ』に参加予定。
399	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱は少なめで、鑑賞、リズム、等へカリキュラム変更を行った。 ・歌唱はマスク着用で、距離を取って同方向で歌う。 ・リコーダーは吹き出し口にビニール袋でガードをして行う。

400	<p>・1クラス分(32本)スティックを買い、机のカバーの透明シートを正方形にカットしたものを机に敷いてリズムを叩く練習をしています。また、3年生は1クラス23～24人なので、交代制でドラムを体験させようと考えています。特に、男子生徒たちはドラムに触ってみたいと思っていたので喜んでます。その間に、リズムの難度を変えたパターン集をもとに、自分でレベルを選んで正しく叩けるかどうかの実技テストを行う予定です。</p> <p>・歌はまだ歌っていませんが、2教室にパートごと分けて練習したり、ハミングで音を取るやり方で考えています。マスクが取れないので誰が歌っているのか分からないのが苦しいところです。</p>
401	<p>・音楽室に入室する前に、必ず石けんで手洗いすることを徹底する。(菌を持ち込まない)</p> <p>・座席を広くとる。前後との間隔を1メートル以上離れて配置。</p> <p>・歌唱は、必ずマスクを着用し、自席で歌う。(ピアノの周りに集まってパート練習はしない)</p> <p>・歌唱活動は10分程度(最小限)、器楽(ギター、和楽器)を中心に授業を進める。</p> <p>・リズム創作活動の時間を増やした。</p>
402	<p>・歌唱は、扉と窓を開け、席についたまま、前を向いて小さい声で歌う。</p> <p>・パート練習は行わない。</p>
403	<p>・歌唱は行わずに、鑑賞、器楽(クラッピング・打楽器)を行っている。</p> <p>・共通教材を鑑賞教材にして扱った。</p> <p>・2学期からは、合唱活動に入る予定。パートごとに大きい教室(美術室・被服室・調理室などの空き教室)を使用し、密にならないよう配置を確認し練習していく。</p>
404	<p>・歌唱は、できるだけ広がり、窓のほうを向いて歌うようにしている。</p> <p>・ハミング唱やハンドサインを取り入れている。</p> <p>・合唱練習は、第1音楽室と第2音楽室に分かれて広がってパート練習をしている。</p>
405	<p>・全員マスク着用 座席指定(常時設置)</p> <p>・10年間開かなかった音楽室の窓をあけ、換気ができるように市教委へ要請。(即対応してくれた。)</p> <p>・武道場での音楽授業(6月初旬まで)</p> <p>・タブレット使用(支援学級で歌唱練習)</p> <p>・年間指導計画の変更(ちょっとだけ領域や内容の入れ替え) →歌唱でのスタートでなく、リズムアンサンブルでスタート(休校中の学習を生かして) →コロナで沈む子どもたちの心を盛り上げ、活気を取り戻すための授業へ。</p> <p>〈歌わない音楽〉</p> <p>・「いつ歌うの?」という声を大事にしたい。 →声を出さず心で歌う。鼻歌で歌う。大きな声をださなくても、音楽を聴いて感じ取れる。</p> <p>【事例】デモ音源『夢の世界を』から感じられるあなたにとっての『夢の世界を』はどれ? 選択画像と音楽を結び付けて、そう感じられる根拠を述べる。 など</p>
406	<p>・当面、歌唱とリコーダー演奏は行わず、鑑賞と音楽づくりを中心に授業を進める。</p>
407	<p>・歌唱は密にならないように配置し、実施する。</p> <p>・鑑賞を中心にカリキュラムを組む。</p>
408	<p>・校歌の歌唱はせず、歌唱の部分をリズム打ち。</p> <p>・共用楽器は使わない。</p> <p>・鑑賞の授業が中心。</p> <p>・歌唱やリコーダーは行っていない。</p>
409	<p>・1年の授業では体育館を使用させていただいて、2度歌唱の授業を行った。(校歌、主人は冷たい土の中に)2、3年はまだ歌唱を行っていない。</p> <p>・音符や休符、記号の基礎やリズムゲーム(4分の4拍子のリズムを作ろう)や器楽「クラッピングラブソディ第1番」や「打楽器のための小品」アンサンブルに取り組んでいる。</p> <p>・これから鑑賞や合唱に進めていきたいと思っている。</p>
410	<p>・当面、歌唱は行わず、鑑賞と和太鼓と創作を中心に授業を進める。</p> <p>・新1年生の校歌の指導は、楽譜を見ながら上級生の範音を聴かせる。また、動画配信をし、家庭学習で覚えられるようにする。</p>
411	<p>・音楽室の席の間隔を1メートル以上あけて、前後の席が重ならないようにした。</p> <p>・ハミングをしながら歌唱練習をおこなった。</p> <p>・規制が緩和されてからは、合唱の練習の時、別室を使用し、男声、女声にわかれて社会的距離を保つよう配慮しながら、パート練習をおこなった。</p> <p>・体育館が空いている時に、生徒同士の社会的距離をとりながら、合唱練習をおこなった。</p>
412	<p>当面、歌唱は行わず、鑑賞とリズムアンサンブルを中心にカリキュラムを組む。 リコーダーは姿勢と運指を中心に行い、マスクをしたまま、アーティキュレーションを意識した音程を歌わせながら指運びと合わせている。</p>

413	<ul style="list-style-type: none"> ・範唱CDを聴き、ハミングで歌う。 ・身体で表現し、曲想をつかむ。 ・鍵盤ハーモニカの指導では、空中で指を動かして指番号を確認する。 ・リコーダーの指導は、運指の練習のみ行う。実際にふく練習は家で行う。 ・カスタネットでリズム打ちをする。使用前後に手洗いをする。 ・鑑賞や音楽ワークを使って学習する。 ・音階を風船で表し、指でなぞる。 ・タブレットで演奏やリズム打ちをする。 ・鑑賞曲に歌詞をつける。
414	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌や合唱の曲などは、C?を流しながらリズム打ちをしている。
415	<ul style="list-style-type: none"> ・カップスというカップを使ったリズム遊びを器楽の活動として設定し、曲に合わせて演奏しています。また、カップスのリズムパターンを使って、全体の構成やパートの重ね方などを工夫し、リズム創作にチャレンジしようと思います。
416	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱やリコーダーは当面行わず、創作活動や鑑賞を中心に授業を進める。 ・口を閉じたハミング奏法を取り入れている。 ・リコーダーは指で練習し、音を出す時間を短くしている。 ・歌唱、器楽ともにグループでの練習は行わず、全員が同じ方向を向いて演奏している。 ・箏の練習の後は、必ず消毒を行う。生徒も手洗いをしっかりと行う。 ・年間指導計画を変更し、創作活動や鑑賞を中心に授業を行っている。 ・歌唱の教材を活用していろいろな表現をする。(例)「夏の思い出」→歌を指揮で表現する。「翼をください」→歌を手話で表現する。
417	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽室での生徒イスの配置を、間隔を取るようにし密集を避ける。 ・教材として「打楽器のための小品」(黒澤吉徳:教芸:中学生の器楽)を設定し、指導内容をテンポ、リズム、拍子、強弱、読譜に特化した指導を行う。実際に手拍子で演奏し、発表・実技試験を行う。
418	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱やリコーダーは2学期以降に実施することになっている。 ・ボディパーカッションなどを実技に取り入れている。 ・年間指導計画を見直し、先に鑑賞中心の授業を実施している。
419	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱は、長い廊下を使って全員窓向き、音量はmf以内で。
420	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽の授業は、ギター、箏を行っている。授業前後に必ず手洗いうがいをするように呼びかけ、楽器に触る前に生徒の手指を消毒する。常時窓を数センチ開け、20分に1回は全開にしている。 ・机を教室外に出し椅子のみにすることで、生徒同士の距離を開けている。